

読書生活を豊かにする国語学習指導のあり方

— 本の魅力を伝えるPOPづくりを通して —

1. 主題設定の理由

読書は多様化してきている。読書を取り巻く今日的な潮流を鑑みたとき、生涯を通じて読書に親しみ、自発的に読書にとりくみながら、読書生活を豊かにできるような生徒を育てたいと思い、今回の主題を設定した。

今回は、読みたい本と出会う場面に着目し、「本の魅力が伝わるPOPをつくろう」という活動を行う。まず重松清『タオル』でPOPをつくり、作品を様々な観点から分析して内容理解を深めながら、作品の魅力を再認識する。その後、代官山蔦屋書店ブックコンシェルジュの間室道子さんをゲストティーチャーに迎え、本の楽しさやPOPの作り方の極意を学ぶ。学んだことを生かし、再度『タオル』のPOPづくりを行った後、自分が紹介したい本のPOPを作って交流する活動を行う。夏休みには、読書生活記録ノートを記録しながら読書に親しむ。夏休みに読んだ本の中からPOPをつくり、秋の読書週間にそのPOPと本を図書室に飾る。読書の楽しさや面白さに気づき、これからの読書生活を豊かにしようとする態度を育てることができると考え、この主題を設定した。

2. 研究仮説

○作品の魅力を伝えるPOPづくりを通して、様々な本の魅力を味わい、その魅力をPOPに表現することができるだろう。

○おすすめの本について紹介したPOPを交流することで、読書生活を豊かにすることができるだろう。

3. 研究内容

○POPをつくるために、作品を様々な読みの観点から分析することで、作品の魅力を味わうとともに、その魅力をPOPに表現し、相手に伝えることができる。

○POPを交流し、本に親しみ自発的に読書を進め、読書生活を豊かにしていくきっかけとする。

4. 研究のまとめ

○POPをつくるために、様々な観点から作品を読み込むことで、作品の魅力を味わうとともに、その魅力が相手に伝わるよう、POPに表現することができた。

○POPをつくり、交流し合うことによって、様々な本に親しみ、自発的な読書を進めるとともに、読書生活を豊かにしようとする態度を育てることができた。

研究主題

読書生活を豊かにする国語学習指導のあり方 一本の魅力を伝えるPOPづくりを通して―

1. 主題設定の理由

生徒の読書を取り巻く環境は大きく変化しつつあり、多様化してきている。そうした今日的な潮流を鑑みたとき、改めて読書活動をする意義について考えたいと思った。

生徒は、読書によって、楽しく自然と知識がつき、物事を考えることができる。個性が育ち、想像力や思考力を養い、生きてはたらく言葉の力を身につけることができる。また、読書の習慣が身につくことで、国語力を向上させるだけでなく、人間としての成長を促すという大切な側面も持つ。子どもたちが進んで読書をし、読書を通じて人生を豊かにしようという態度を育て、読書生活を豊かにするようとりくみをするのが大切であると改めて考えた。

読書生活が豊かになるとはどのような姿を指すのか。安居總子氏は「読書生活者は読書が生活に位置づいている人をいう。基本的に「本をすぐ手に取る」「本に接し本から情報を得る（得ようとす）」「本から喜び楽しみを見出し、楽しむ」人」と最初にあげている。また、大村はま氏は「読みたい本をたくさん胸に持っている人間と、読みたい本が即座に口に出てこない人とは人種が違ふ」と私は思います。」と述べており、私はこの部分に非常に共感した。読書生活が豊かになるということを一言で定義することは難しいが、本研究では、子どもたちが読書への興味関心を高めて冊数や時間が増えたり、本のジャンルを広げたり、書店や図書室、図書館へ足を運んだり、なにより読書によって自己の成長につなげようとしたりする姿をめざしたいと考える。

では、本校の生徒は読書をどのように捉えているのだろうか。【資料編1】のアンケート結果は、波岡中学校2年生の143人（1名欠席）のアンケート結果である。グラフに一部「全国中2」とあるのは「親と子の読書活動等に関する調査」（2004）における結果を比較したものである。質問の内容は次の通りだ。

- ①本を読むことは ②本を読む理由 ③本を読む場所 ④朝読書以外に本を読むか
⑤本を読んでもらった経験 ⑥1か月の間に本を読まない理由 ⑦本を読む時間がなかった理由
⑧1か月で読む本の冊数 ⑨1か月で読むマンガの冊数 ⑩1か月で地域の図書館に行った回数
⑪1か月で学校の図書室に行った回数 ⑫1か月で地域の図書館で借りた本の冊数
⑬1か月で学校の図書室で借りた本の冊数 ⑭本の入手方法、手段⑮選書のきっかけ⑯本のジャンル

結果によると、本校の生徒は、読書好きで読書を楽しみだと捉えている生徒が多く【資料編1－①②p.1】、「どちらかといえば嫌い・嫌い」と答えた生徒は15%に留まった。読書以外にも自宅や教室で読書する生徒が半分以上を占め【資料編1－③④p.1】、保護者に本を読んでもらった経験も豊富であり【資料編1－⑤p.1】、全国平均を上回る項目も多い。1か月で読む本の冊数は平均1～2冊であり、マンガは最も多いのは0冊であった。本を読まない理由としては、「読書が嫌い」である以上に、「勉強やお稽古で読む時間がない」「読みたい本がない」が多いことも分かった【資料編1－⑥⑦p.1】。また、学校の図書室や地域の図書館へ行く回数も借りた冊数も0が大半を占めた【資料編1－⑧～⑬p.1】。本の入手方法は、書店でタイトルや装丁で選書しており【資料編1－⑭⑮p.1】、本のジャンルは、「その他小説全般」に偏っていることも分かった【資料編1－⑯p.1】。

その中でも特に「読みたい本がない」という部分に着目したいと考えた。先に引用した大村氏の

言葉によるならば、生徒が読みたいなという本に出合うことは読書生活を豊かにする入口とも言える。一冊の本との出会いは、運命的なものだ。それは、なんとなく手に取った、たまたま見つけた本だったり、テレビや雑誌で見つけた本だったり、誰かにおすすめされた本だったり、様々だ。そうした一冊の本との出会いで読書の世界が一気に広がることもある。本の世界を疑似体験したり、知識を獲得したりして、新たな考え方に合うことを可能にする。生徒が、自ら選んだ本に読み浸るような経験を味わい、積み重ねることで、読書の習慣を生活の中に根づかせたい。そのために、本研究では、1枚のPOPに注目させたいと思った。POPは、1枚の紙の中にその本の魅力がまっている。たった1枚の紙で本を手に取り、読者をその本の世界へ誘う力を持つ。子どもたちは、POPづくりを通して、作品を読み解き、その魅力を相手に表現するという読み書きの様々な力を養える。生徒たちが書いたPOPを交流することを通して、たくさん本と出会い、読書の幅を広げ、作者や作品世界、それをおすすめする人（書店員・仲間）と繋がり、本の世界を広げる機会となりえる。POPから読書生活を豊かにするきっかけをつくることのできるのではないかと考えた。

また、今回は、代官山蔦屋書店のブックコンシェルジュの間室道子氏をゲストティーチャーとして迎え、本の楽しさやPOPを作る極意を学ぶ。本物に触れることで、生徒の読書への意欲を高め、子どもたちの読書の世界を広げる契機にしたいと考えた。生涯を通じて読書に親しみ、自発的に読書にとりくみ、読書生活を豊かにする生徒を育てたいと思い、今回の主題を設定した。

2. 研究仮説

- 作品の魅力を伝えるPOPづくりを通して、様々な本の魅力を味わい、その魅力をPOPに表現することができるだろう。
- おすすめの本について紹介したPOPを交流することで、読書生活を豊かにすることができるだろう。

3. 研究内容

- 対象：木更津市立波岡中学校2年生（144人）
- POPをつくるために、作品を様々な読みの観点から分析することで、作品の魅力を味わうとともに、その魅力をPOPに表現し、相手に伝えることができる。
- POPを交流し、本に親しみ自発的に読書を進め、読書生活を豊かにしていくきっかけとする。

4. 研究の実際

(1) 単元名 NAMI OKA書店員になって、おすすめの本をPOPで紹介しよう。

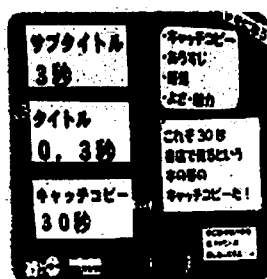
(2) 単元の目標

- (1) POPのつくり方を学び、本の楽しさや面白さに気づこうとしている。【関心・意欲・態度】
- (2) POPづくりを通して、作品の魅力を味わうことができる。【読むこと】
- (3) おすすめの本の魅力が書かれたPOPを交流することを通して、本に親しみ、自発的に読書をして読書生活を豊かにすることができる。【読むこと】

(3) 指導計画

第	時	学習活動と内容	指導や支援の手立て (○支援☆評価)
第 1 次	1	○波岡中と全国の読書傾向を振り返る。 ○書店の写真でPOPの存在を知る。 ○教職員見本でPOPについて考える。 ・POPとは、「まだ読んでいない相手に本のよさや魅力を伝え、本を手にとってもらうもの」である。 ・POPに必要な要素は、「キャッチコピー、あらすじ、本の魅力、感想や考え、本の情報」ではないか。 ○学習の見通しと、学習のゴールを知る。 NAMIOKA書店員として、 おすすめの本をPOPで紹介しよう。	○読書傾向の結果を示したグラフで気づいたところを発表させる。【資料編1 p.1】 ○見本【資料編2① p.3】は3つ用意し、キャッチコピーや書かれている内容の違いについて比較ができるようにする。 ○POPの定義、POPの要素を予想させ、次時へ繋げる。 ☆学習の見通しをもち、POPをつくることにむけて意欲を高めているか。(観察、ノート)
	2 3	○重松清『タオル』POP作成に向けて、作品の魅力を味わう。 ・POPの定義と要素を確認する。 ・読みの視点を加えたお花プリント ver.1に『タオル』の魅力を分析し記入する。 ○『タオル』POPをつくる。 ・絵はがきサイズの用紙に書いていく。	○キャッチコピーは、作品を分析しながら、ふと思いつく瞬間を大事にさせる。 ○仕上がったPOPは、講演前に間室道子さんに見ていただき、講演で触れることを伝え、作成意欲を高めさせる。 ☆お花プリント ver.1【資料編3① p.4】に読みの視点を与え、『タオル』を分析し、『タオル』の魅力を再発見しているのか。(プリント、観察) ☆POPの定義や要素をもとに、POPに表現しているか。(タオルPOP)
	4	○間室道子さんの講演に備える。 ・間室さんについて知る。 ・間室さんに読書やPOPについて知りたいこと、学びたいこと、質問したいことをノートにメモする。	○自分が『タオル』POPをつくったことを思い出しながら、POPづくりについての質問事項を考えさせる。 ☆講演会にむけて意欲を高め、学びたいことを整理しているか。(ノート、観察)
第 2 次	5	○間室道子さんの講演を聞きながら、メモをする。【資料編4 p.6】 ・POPの目的や役割について知る。 ・POPの基本的な作り方を知る。 ・間室さん作『タオル』POPをもとに、本の肝を見つける技術を知る。 ・読書の楽しさや面白さについて学ぶ。 ○間室さんへ質問をし、その回答を聞く。	○講師作成の『タオル』POPから、本の肝とは、“心に響き、作品のテーマに繋がるもの”であるということを知り、その見つけ方を学ばせる。 ☆講演を聞きながらPOPの作り方や本の楽しさについてメモをしながら学ぼうとしているか。(プリント、観察) ☆講演で学んだことを整理しているか。(観察、ノート)

	6 7	○間室さんのQ & A資料を読む。【資料編 5 p.7】 ○講演を振り返り、『タオル』POPを更に改良して作成する。 ・付箋を1枚もって「本の肝」を探し、そのまま抜き出してみる。 ・はっとしたり驚いたりびっくりしたりしたところについて書いてみる。 ・表記に工夫を加える。	○講演で学んだことを自分のPOPに生かすよう考えさせる。 ○相手意識を高めさせ、どうしたら相手が手に取ってくれるPOPになりえるかを意識させる。 ☆間室さんから学んだことをもとに、1枚目よりも2枚目の『タオル』POPをよりよくしようと表現しているか。(POP)
	8 9	○おすすめする本のPOPをつくる。 ・お花プリント ver.2 でおすすめの本の魅力を分析する。【資料編3② p.5】 ・おすすめする本のイメージに合う色の絵はがき用紙を選ぶ。 ・お花プリント ver.2 をもとにPOPを作成する。【資料編6 p.8】 ・1年生に全員の『タオル』POPを見てもらい、支持の高かったPOPを知る。	○お花プリントは、間室講演を生かせるよう改良を加え、<u>ハッと驚いたり気になったりしたところ・本の肝</u>を加える。 ○学んだことの総まとめと位置付ける。 ☆今まで学んだことを踏まえて、おすすめする本の魅力が伝わるPOPをついているか。(お花プリント、POP)
	10	○NAMIOKA書店員になってPOPを紹介し交流し合う。【資料編7 p.9】 ・クラス全員の本とPOPを図書室に飾り、互いに見合う。 ・自分が手に取りたいと思った本を5冊挙げ、その中から最も読みたいと思ったPOPの作者へ付箋で感想を書く。	○図書室、各班一つ机を使用し、POPや本を自由に飾らせる。 ○気になったPOPの書店員に本について聞いたり質問したりする。 ☆仲間のPOPを見ながら読みたい本やその理由を考え、自分の読書生活に生かそうとしているか(ワークシート)
	第3次	11 ○学習のまとめをする。 ・クラスの人気BOOKランキングから、特に仲間から読みたいと思ってもらったPOPと本を見る。【資料編8①② p.10,11】 ・『タオル』についてふりかえりをする。 ・今回の単元で学んだことを振り返り、これからの読書生活にどう生かしていきたいかまとめる。【資料編9 p.12】	○この授業を行う前と後ではどのような変化があったのかを捉えさせる。 ☆POPをつくったことで作品の魅力を味わえているか。(ワークシート) ☆今までの授業で学んだことを踏まえて、これからの読書生活を豊かにしようとしているか。(ワークシート)
	課外	○読書生活記録ノート始める。 ・POPでの交流や図書室などで読みたいと思った本をあげメモする。 ・夏休みに3冊以上本を読み、1枚以上POPを書く。	○夏休みに書いたPOPと本は、秋の読書週間に図書室に飾ることを伝え、意欲を喚起させる。 ☆夏休みに本に親しみ、自発的に読書を進めているか。(読書生活記録、POP)



学習計画の第1時間目において、波岡中学校の2年生と全国の中学2年生の読書傾向を比較し【資料編1 p.1】、自分の読書生活を振り返り、課題を考えさせた。本好きで読書が楽しいと感じている生徒が多いなど全国平均を上回る項目に喜びながらも、自分たちは読みたい本に出合っていないことが本を読まない大きな理由であること、そして、生徒の多くが本屋で購入していることに注目させた。そこで書店に来る客の8割以上はタイトルと装丁で選書すること、買い手は1冊のタ

イトルに0.3秒、サブタイトルに3秒、本の帯のキャッチコピーに30秒という時間しかかけていないことを知った。そのために、書店員がPOPをつくり買い手の目を引いているという事実が気づき、学習目標と学習の見通しをもった【資料編2-① p.3】。既習教材である佐藤真美『夢を跳ぶ』で教職員作のPOP見本【資料編2-② p.3】を見て、魅力が伝わるPOPについて考えた。そこで生徒は、POPとは「まだ本を読んでいない相手に本の魅力を伝え、本を手にとってもらうものだ」と捉えた。そして、POPに載せる必要な情報として、本の情報、本の魅力（登場人物、ストーリーや展開、描写や語り口、台詞、主題やテーマなど）、あらすじを捉えた作品の内容、キャッチコピー（POPの一番上にあり、最も大きくてインパクトがあり、心をつかむ表現とした。）などではないかと予想した。本時で、生徒たちはPOPへの制作意欲を高めるとともに、POPと書店員の存在に着目し「色々な人の手がかかって自分のところに本があるのだなと思いました。本を読んでもらうため、見てもらうため、色々な工夫がなされていると思った。これからも一つひとつの本のPOPなどを見て、自分に合う本を探して、たくさん読んでみたいです。」という感想の生徒もいた。

第2・3時間目には、既習教材である重松清『タオル』でPOPを作成した。その際には、「お花プリント ver.1」【資料編3 p.4】で作品を様々な観点から分析してからPOPを制作させた。お花プリントは、本の情報（本、作者について、どんな人におすすめか、表紙、タイトル、出会い）キャッチコピー、読後感、あらすじ、作品の魅力（人物、主題、結末、台詞、表現や言葉の使い方、全体の構成、ストーリー展開、情景描写や語り口、心情表現変化、場面設定）という観点で分析できるようになっている。また、花びらの部分（人物、主題、結末、台詞）については、太いラインの部分は全員共通で埋め、それ以外は可能な生徒のみ取り組めるようにした。そして、生徒は、このPOPは講演会に来る間室道子氏に予め見てもらうことと、間室氏にもタオルPOPを作ってもらうことを知って、子どもたちは制作意欲を高めた。POPの制作過程で、「POPを作るには、しっかり『タオル』を読んでいなければ書けないということを身にしてみた」と難しさを感じる生徒も多かった。その際には、教職員作の見本も参考になったようだった。主題に悩む生徒には、繰り返し「この作品を通して作者が伝えたいことはなにか」と対話し考えさせた。特にキャッチコピーに苦戦する生徒が多かったが、「だんだんとPOPの形が見えてきて、段階を踏んでPOPを書いているようで作りやすい。」「お花を埋めていくうちにどんどんペンが進み、キャッチコピーが浮かんできやすくなった。」「いいキャッチコピーを書くには、頭に常にPOPのことを考えておくことが大切。」と述べており、お花プリントが効果的に働いたことが裏付ける。『タオル』の魅力についても「どうしたら読み手が『タオル』を気になってくれるかと書いてみたら意外に害けて嬉しかった。」「教科書を何回も読んで最初は分からなかった少年の気持ちが分かったような気がします。」「POPを作るために読んだらまた違うのだなと思いました。」「『タオル』の良さが一層味わえた気がした。」と内容理解が深まり、魅力を再確認していた。また、「POPを書いてみて、最初に感じたのは「楽しいな」だった。考えるのは難しいし、大変だけど、自分で物語をしっかりと読み、理解して、それ

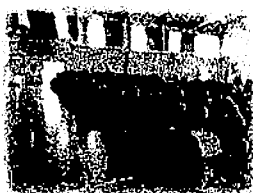
を人に伝える為にどこをどうすればいいかなど全てやるのが楽しかった。早く間室さんの感想を聞きたい」と述べる生徒もいた。お花プリント ver.1によって、『タオル』を分析し直すことで、作品を読み解き、その魅力を相手に伝わるように短く言葉にまとめて表現し、POPでまとめることができた。

第4時間目には、1枚のPOPでベストセラーを生む代官山蔦屋書店ブックコンシェルジュの間室道子氏について知り、学びたいこと、質問したいことなどをメモした。間室氏は、様々なメディアで本紹介をする傍ら、文庫本の解説や雑誌の記事を担当し、1冊の本を徹底的に読み込むことでも知られている。朝の情報番組で彼女が毎週一冊本をおすすめするコーナーを見ていたのが最初の出会いで、代官山に実際に赴いたのがきっかけとなった。POPは小さなラブレターだとし、手書きで書かれた間室POPが並ぶ間室コーナーも有名だ。「ネット書店ではなく、リアルな書店だからこそできる本と人との繋がり大切さ」を説き、「今の時代だからこそ、手をかける、心をかけること」の必要性を説いている。そんな間室氏から生徒たちは、POPの存在価値を知るとともに、POPが活躍する書店や、図書館、図書室などにも目を向けるいい機会となり、自ら書店などに赴き、自発的に読書をしようとする生徒を育成できるのではないかと考えた。生徒は、様々な資料から間室氏について知り、学びたいことをあげ、各々が意欲を高めていた。

第5時間目には、間室氏による講演会が開かれた。間室氏特製プリントをもとに【資料編4 p.6】、POPのつくり方や、読書の楽しさ、本の魅力などについて学んだ。生徒は、必要であればメモをしたり、質問したりした。ここで生徒が学ぶことは以下のとおりであった。

- ・POPとは、読書感想文や書評とは役割が異なり、相手の目を引き、手に取らせ、レジまで足を運んでもらうものである。
- ・POPは、自分の思いや気持ちを一方的に述べるものではなく、相手の気を引いてこそ成り立つものであり、本の面白さを伝えるのが目的である。
- ・POPを書く際には、どうしたら相手が手に取ってくれるかという想像力とそれを文字にして形にしていける創造力が必要である。
- ・POPは、文字の形や大きさに気をつけ、「色相環」の反対の色を活用しながら配色し、短くキャッチーにまとめ、中学生であれば、だいたい7～8行で書くのがよい。
- ・POPを書く第1歩としては、ハッと驚いたり気になったりびっくりしたところをそのまま書いてみる。また、心に響いたテーマに繋がると考えられる本文の一節を「本の肝」として付箋1枚を使って探しなが見つけそのまま書いてみるというのがあげられる。そのままキャッチコピーにするのもよい。気になった登場人物に目を向けるのも面白い。

他にも、事前に見ていただいていた自分たちのタオルPOPの講評を聞き、間室氏自身が作った『タオル』POPをもとに、彼女が選んだ『タオル』の本の肝を知り、本の肝を見つける参考にした。「自分の居場所を見つけられないとゆっくり悲しむこともできない」が本の肝であり、それがキャッチコピーにもなっていた。この言葉が物語の主題に繋がる大事な一節だと感じたからだ。ここで本の肝は一つではなく、読む人によって様々だが、本の肝は心に響く、主題に繋がる言葉であることをおさえた。他にも、読書の楽しさやその意味、生徒の素朴な疑問に答えていただき、学びの深まる時間とした。生徒は、テレビで見たことのある間室さんが目の前にいることに感動しながら、彼女の言葉を一語一句聞き漏らさぬよう必死にメモをしていた。この講演会が、この後のPOPづくりに大きく影響を与え、「小さいけど大活躍しているPOPをもっとつくりたい。」と子どもたちも意欲を高めていた。

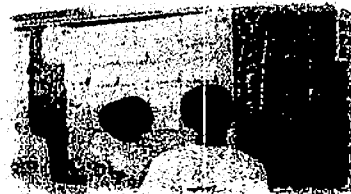
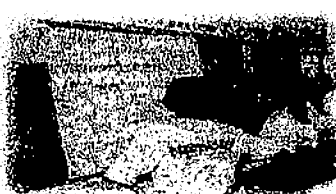
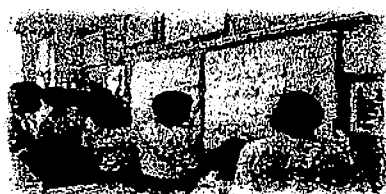


自分の作品を見て、ついで
ぬるいた。
ゆっくり読むこともきらい
てくあた 祖父と、直りぬい
るこにあらわれた人物とは……!!
逢坂 素子

《間室道子氏による講演会》

《必死にメモする生徒》 《間室氏作『タオル』POP》

第6、7時間目には、間室氏からのQ&Aを読み【資料編5 p.7】、講演で学んだことを整理し、再度、タオルでのPOPをよりよくつくり直した。授業では改めてPOPとは、最初書いた『タオル』POPよりも、相手に手に取ってもらえるようなPOPに仕上げるよう助言し、作品と向き合わせた。一人ひとり付箋をもち本の肝を選んだり、文字の色や形に気を付けたり、主題を今一度考え直したり、間室さんのプリントを見返しながら、作品を味わい、POPを書き直していった。POPを読む相手がいることを意識することでPOPの表現に変化が生まれたこと、効果的な表記の仕方を取り入れたことでPOPの見栄えが高まったこと、本の肝を探す活動で主題を捉えPOPに深みが生まれたことが大きな成果とあげられる。本の肝を探す際に悩む生徒には「この作品のタイトルは何？そのテーマは？そのテーマに繋がる一節はどこ？」と繰り返し対話して探していった。本の肝ととらえた本文をそのままPOPに引用できるのも、国語が苦手な生徒には効果的であった。このPOPは、後輩の1年生がPOPを作る際の見本として活用した。1年生が目をはき、手に取りたいと思ったPOPにシールを貼り、いいPOPとはどのようなものか。後輩の役に立てたことにも制作意欲を高め、シールの多いPOPはどういうPOPなのか振りかえるいい機会になった【資料編6 p.8】。講演前後において『タオル』POPがどのように成長したかを生徒自身も捉えた。



《先輩の『タオル』POPで、気に入ったものにシールを貼る1年生》

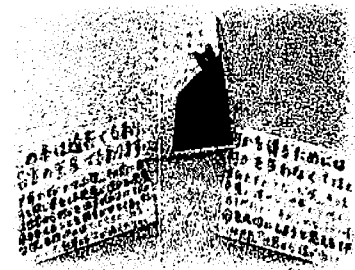
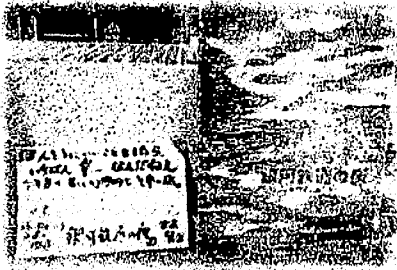
第8、9時間目には、いよいよお気に入りの本の紹介にむけて、おすすめの本のPOPを書いた。お花プリントはver.2【資料編3② p.5】と間室講演仕様に改良し、「ハッと驚いたり気になったりしたところ」（「表現や言葉の使い方」の代わりに）、「本の肝」を加えた。生徒は、今までの学習の総まとめとしてPOP制作に入り、付箋一枚を片手に本の肝を探したり、お花プリントで作品の魅力を分析したり、今までの学習を振り返りながら、自分のペースでPOPを仕上げた。POPの用紙も、教色用意し、作品のイメージに合わせた色の選択をした。

第10時間目には、それぞれのお気に入りの本の紹介を行った。図書室で、おすすめの本と共にPOPを置き、交流し合った。読みたいと思った本を5冊まで選び、その中で最も読みたいと思ったPOPの作者（仲間）へ付箋で感想を書いた【資料編7 p.9】。



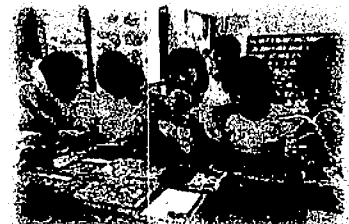
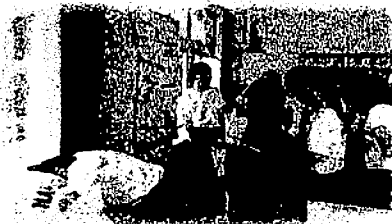
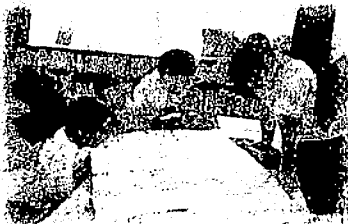
《いいなと思ったPOPをメモしている子どもたち》

《おすすめの本とPOP》



《特に指示の高かったPOPの一部。POPに慣れてきた子は数枚畧く子もいた。》

第11時間目には、各クラスの人気BOOKランキング表を見て【資料編8 p.10,11】、仲間のPOPのよさを改めて発見し合った。『タオル』についての振り返りをして【資料編9 p.12】、学習を終えて自分の読書生活にどのような変容があったかの感想をまとめた【資料編10 p.14】。クラス内、クラスを飛び越えた交流で、読みたい本を見つけた子どもたちは、仲間同士で貸し合ったり、図書館内にあれば積極的に借りたりして読もうとする姿がたくさん見られた。その際、本を話題にして、見所や同じ作者の違う作品について話すなど、本を通じて仲間と交流する姿が生まれた。



《各クラスの人気BOOKランキングを見て、交流し合う》 《おすすめの本を読み選ぶ》

単元後の課外では、夏休みにむけて読書記録ノート始めた。今回の授業を通して読みたいと思った本をリストアップし、夏休みに3冊以上、卒業するまでに1万ページ読破しようという目標を立てた。その読書記録ノートには、生徒からの「本の肝を探しながら読みたい」との要望で「本の肝」の欄も添えた。その夏休みに読んだ本の中で1枚以上POPを書き、秋の読書週間で、読書相談員さんにご協力いただき、図書室に飾る予定だ。【資料11 p.19】

5 研究のまとめ

(1) 研究の成果

仮説①について

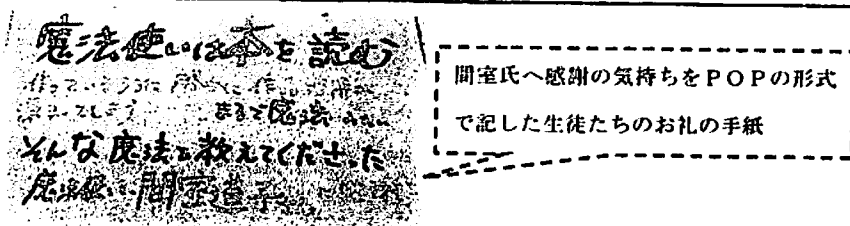
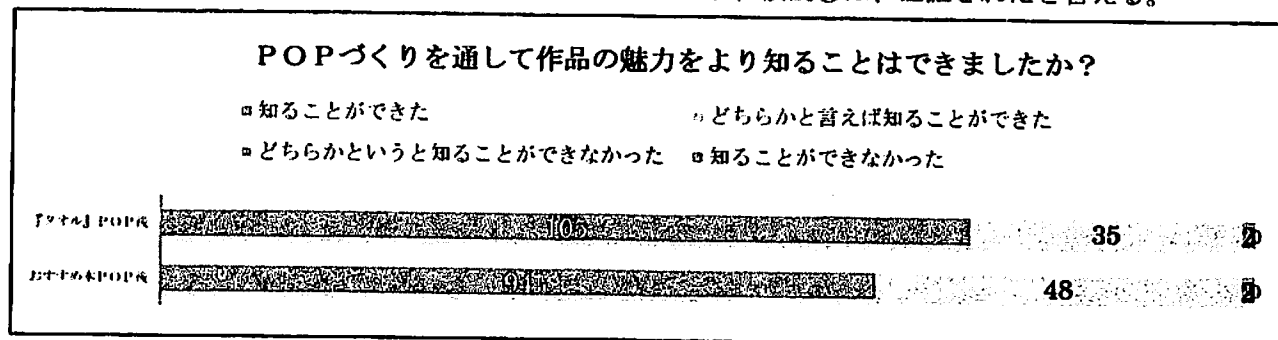
○作品の魅力を伝えるPOPづくりを通して、様々な本の魅力を味わい、その魅力をPOPに表現することができるだろう。

生徒は、POPづくりを通して、「作品の魅力をPOPで伝えるために何度も作品を読み返すことで作品により深く入り込めた」という感想が多く見られた。【資料編3①② p.4,5】からもわかるように、その効果を高めたのがお花プリントであったと考える。POPには、①作者や作品の情報②本の魅力を言い表しているキャッチコピー③本のあらすじ④作品の魅力⑤読後感、以上の5つの要素がPOPを仕上げる大きな柱として必要であると考え、お花プリントに作品を分析させてからPOPを書かせた。“④作品の魅力”は、“作品のここがすばらしい”として10個の視点で作品の魅力を分析した。特に間室氏から学んだ本の肝を探す活動は、効果的であった。作品のテーマに繋がり、読者の心に響く（本を手にとってもらえるような）作品の一

節を、付箋一枚を片手に何度も読み返す。そこから主題を自分の言葉に置き換えて考えたり、本の肝をそのままPOPに載せたり、本の肝をキャッチコピーにしたりした。「読み手の心に響く言葉」「主題につながる大事な言葉」「作者がこの作品を通して伝えたいこと」を考え、主題を捉え、魅力が伝わるPOPに仕上がった。【資料編6 p.8】にあるように『タオル』POPの1枚目と2枚目の変化を見てもその変化は、一目瞭然である。また、最初は、「主題がわからない」とペンが進まなかった子どもたちも、1、2、3枚目、とPOPを書いていくにつれ主題を自分なりの言葉で説明できる生徒が増えた。

生徒は、『タオル』POPの作成後、作品について振り返っている【資料編9 p.12】。①父の人物像②シライさんは祖父の死をどのように捉えているか③少年の心情変化の描写とその理由④「かすかな潮のにおいはそこにもあった」とはどのようなことか⑤タオルはこの作品の中でどのような役割を果たしているか⑥POPに選んだ本の肝とその理由⑦『タオル』の主題・テーマ⑧POPづくりを通して見つけた『タオル』の魅力。以上8点について多くの生徒が自分の考えをまとめ、POPを作成前よりも作品を理解し、味わうことができたようだ。下のアンケート結果からも、作品の魅力を知ることができたと感じた生徒が8割以上いることがわかる。

POPの良さは、POPをまだ手に取っていない読者に伝えるという相手意識がいつそう高まるため、作品の内容をしっかりと読み取り、作品の魅力を相手に伝えるような表現にまとめようという意識が生まれる点だと考える。自分が味わった作品の魅力をどう表現したら相手に伝えることができるのかと試行錯誤しながら、作品とPOPと向き合い、その過程で様々な力を養うことが出来た。作品を正しく読み解く力、作品のあらすじを要約する力、主題を捉える力、作品の魅力を短く言葉にまとめる力、相手にわかりやすく表現する力といった読む力や表現する力も育まれ、作品の魅力を相手に伝えるよう表現することができた。以上の理由から、仮説①は、立証されたとと言える。

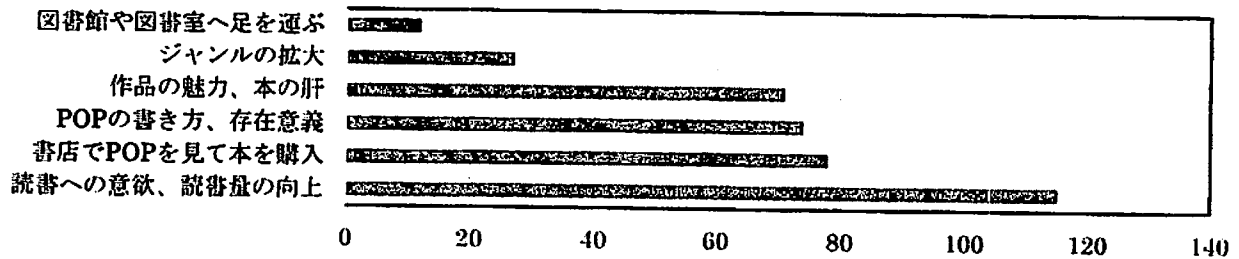


仮説②について

○おすすめの本について紹介したPOPを交流することで、読書生活を豊かにすることができるだろう。

本単元の最後に、「POPづくりを通してあなたが学んだことは何か。学習前後において自分にとってどんな良い変化があったか？」という感想を自由記述で書かせたところ、以下の順で成果が見られた。POP作りやPOPの交流、間室氏との出会いを通して子どもたちは確実に授業前よりも本への興味が高まり、本に親しもうとする姿が見られたことがわかる。【資料編10 p.14】

学習後の生徒の感想から（144人中）

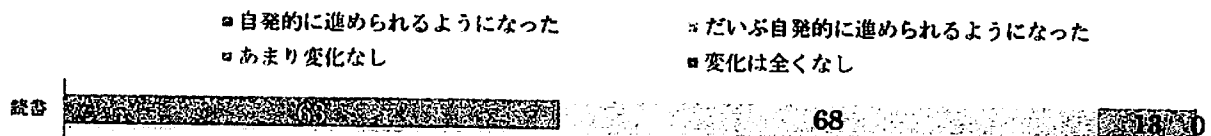


このグラフから、仲間のPOPを交流することで、本に触れる機会が増え、本への興味関心が高まり、本に親しもうとする姿が見られ、読む本のジャンルを広げたいと思うようになったと言える。今まで関心のなかった図書館や図書室で借りたり、気になる本を仲間から借りたりして読書する姿が多々見られた。また間室氏との出会いが大きな影響を与えたようで、書店への意識が高まり、実際に書店へ足を運び、POPを眺めて、一冊の本を手に取り、購入し、読み始めた生徒が多かったことは大きな成果だといえる。書店員の思いを知り、一枚のPOPと時間をかけて向き合った証だと考える。POPを通して、その本をおすすめする書店員や仲間と繋がって対話し、今まで出会うことのなかった作品や作者へと読書の世界を広げることができた。

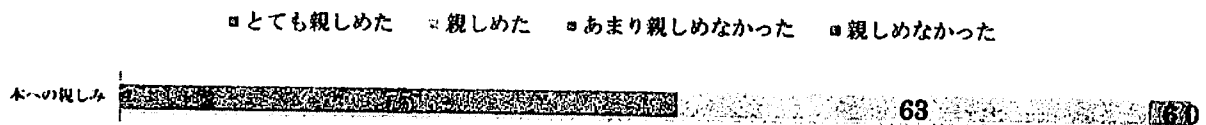
夏休みには、3冊以上読書してPOPを書きたい、読書感想文も楽しみたいとして、夏休み中学年平均3冊読破し読書記録ノート【資料編11 p.19】に書き、5冊以上読んだ（最大18冊）生徒たちもいた。中には、今まで全く読書感想文に意欲のなかったある生徒が、今年度の課題図書に関わりのある分野（数学）の本を数冊読み、読書感想文を仕上げ、県への出品に至った生徒もいた。

計3枚のPOPを書いた子どもたちは、枚数を重ねるごとにPOPの表現も高まるとともに、多くの本とPOPに触れる中で、読書の世界の扉が開き、自発的に読書を進め、読書生活が豊かになったといえる。以上から仮説②も立証されたといえる。

読書生活の変化



本への親しみ



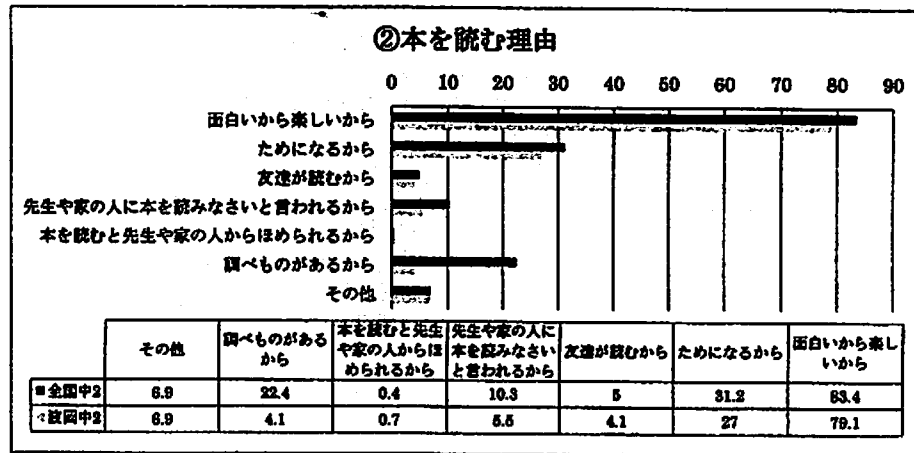
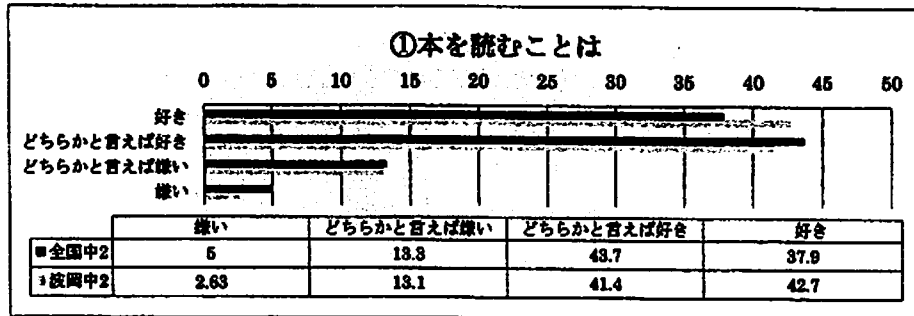
（2）研究の課題

本単元は、本との出会いに着目した読書との始まりの単元である。今後もお花プリントや読書生活記録ノートを通して、継続的に指導をしていく必要がある、今回は、ジャンルの拡大や図書室や図書館の活用については今後もより高めていきたい。小説のみならず、必要な情報を取り出すために様々な本や新聞、雑誌を活用するなどの読書の幅を更に広げていくことも模索していきたい。また、文学的文章のみならず、韻文や説明的文章でPOPを作ることへの可能性も模索したい。

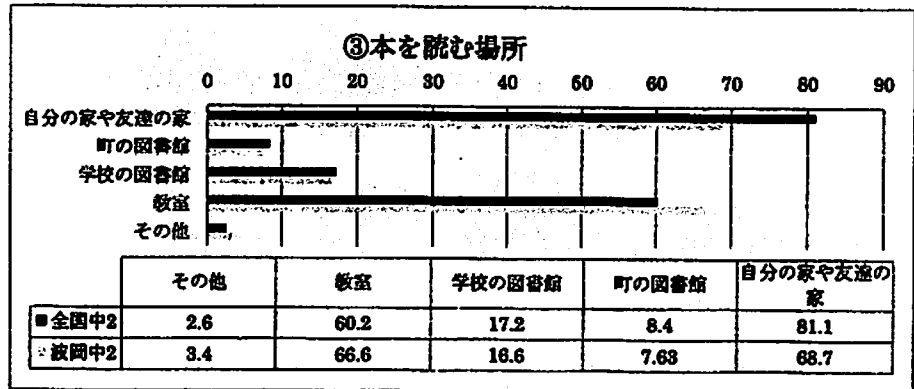
資料編

【資料編1】①～⑩事前アンケート結果	・・・ 1
【資料編2】①学習の見通し	
②教職員見本『夢を跳ぶ』POP	・・・ 3
【資料編3】①お花プリント ver. 1『タオル』とそのPOP	・・・ 4
②お花プリント ver. 2『おすすめ本』とそのPOP	・・・ 5
【資料編4】間室道子氏 プリント	・・・ 6
【資料編5】間室道子氏 子どもたちへのQ&A	・・・ 7
【資料編6】支持が高かった『タオル』POP	・・・ 8
【資料編7】POP 交流ワークシート	・・・ 9
【資料編8】①POPランキング表	・・・ 10
②ランキング上位になったPOP	・・・ 11
【資料編9】『タオル』POP 学習後の記述	・・・ 12
【資料編10】学習を終えての感想分類	・・・ 14
【資料編11】読書記録ノート	・・・ 19
【参考文献】	・・・ 20

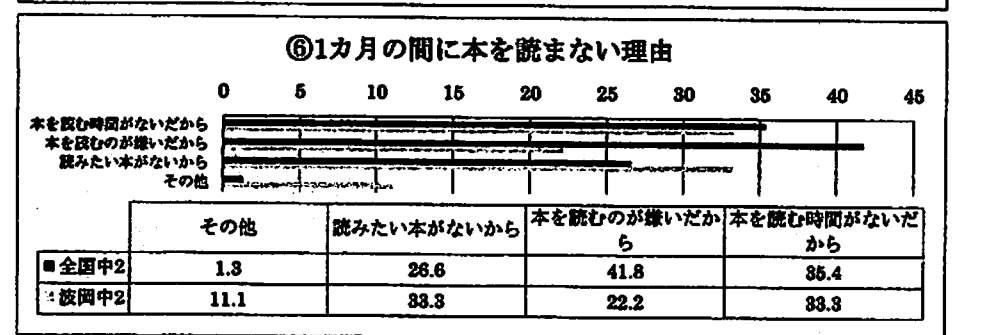
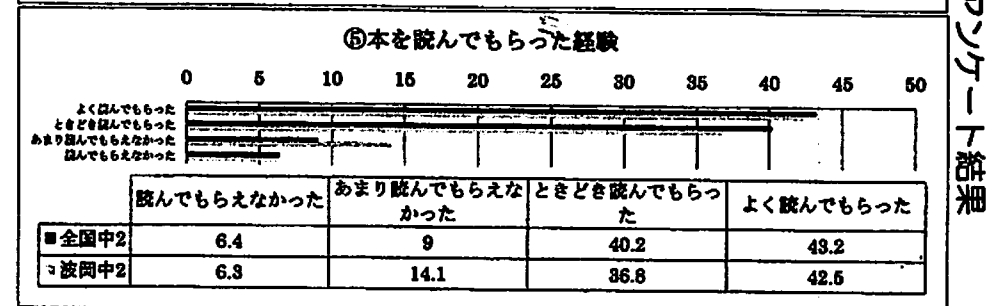
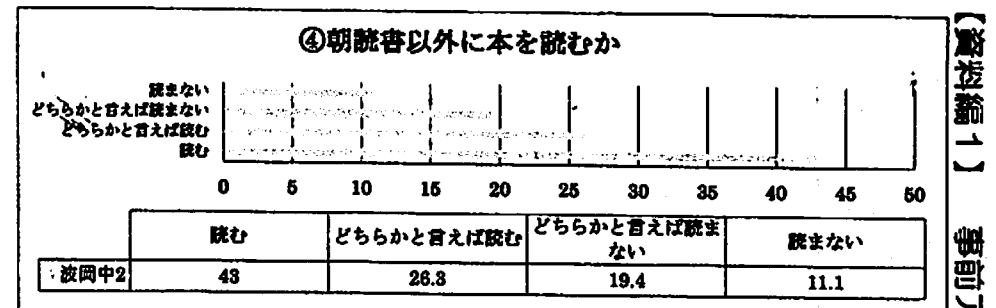
【資料編1】 事前アンケート結果



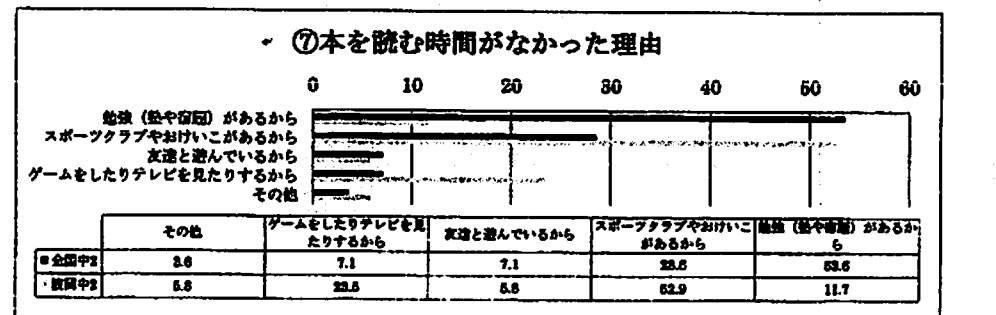
その他：なんとなく。表紙や題名が良いもので読みだすと気になったから。ひまつぶし。朝読書があるから。周りの雑音が聞こえなくなるから。落ち着くから。朝読書をしないと先生に叱られるから。登場人物などの外見を想像すると楽しいから。



その他：バス、電車、車、移動中、外

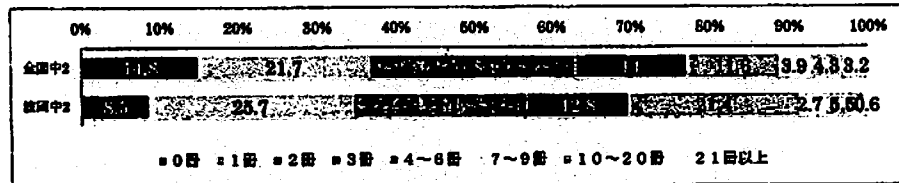


その他：あきる。つまらない。面白そうではない。文字が苦手・嫌い。時間がかかる。読み終わっても内容を忘れる。

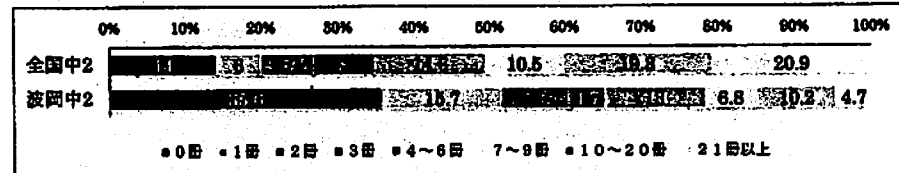


その他：自主練習などで時間がない。

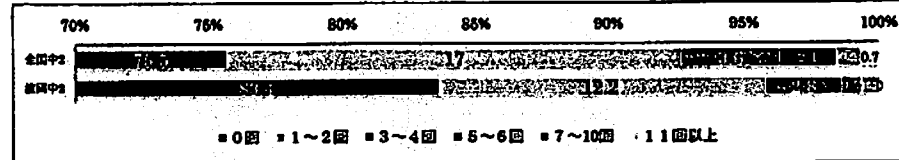
⑧ 1 か月で読む本の冊数



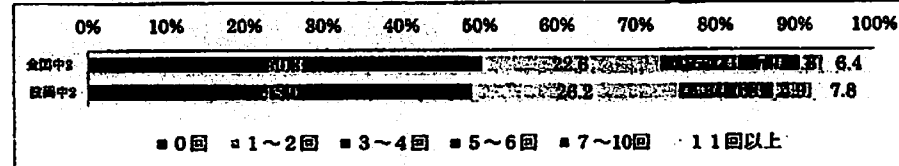
⑨ 1 か月で読むマンガの冊数



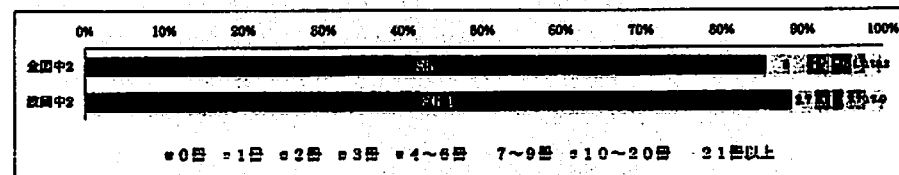
⑩ 1 か月で地域の図書館に行った回数



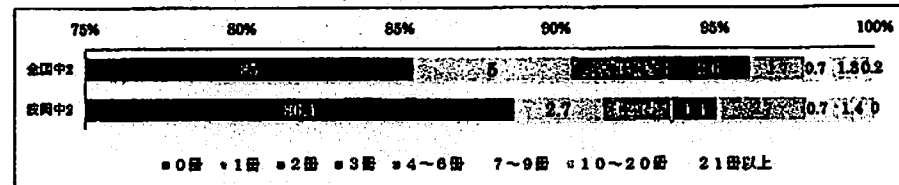
⑪ 1 か月で学校の図書室に行った回数



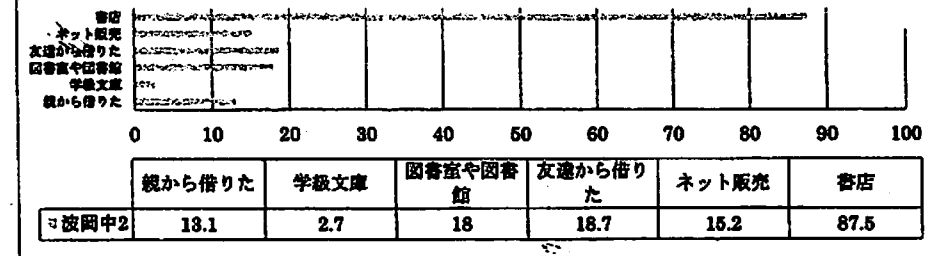
⑫ 1 か月で地域の図書館で借りた本の冊数



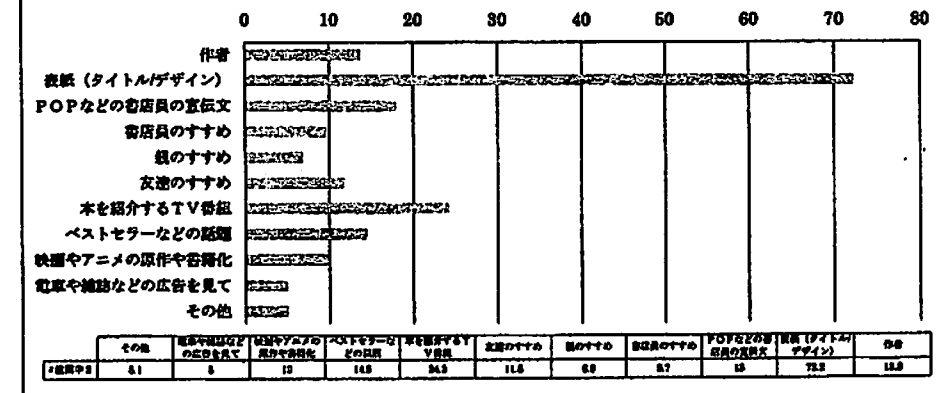
⑬ 1 か月で学校の図書室で借りた本の冊数



⑭ 本の入手方法・手段

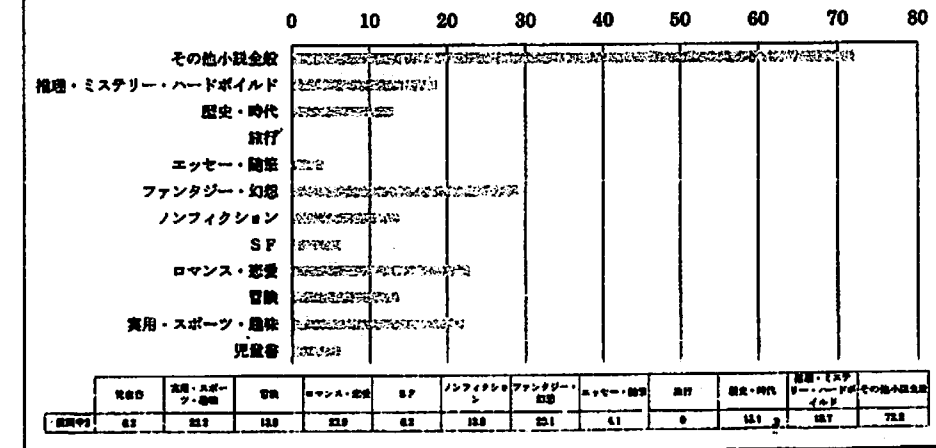


⑮ 選書のきっかけ



その他：興味のある分野、シリーズもの、あらすじを読んで面白そうなもの、図書館感想文のため、自分のためになるもの

⑯ 本のジャンル



NAMIOKA書店員として、おすすめの本の魅力をポップで紹介しよう。」

目標 ●本の魅力、伝えるポップをつくり、作品の魅力をより深く知ろう。

●本の魅力を伝えるポップを完成し、本に親しみ、自発的に読書を進められるようになろう。

学習の見通し

【第一次】

①学習の見通しをもち、ポップについて知る。

②重松清「タオル」の魅力を分析する。

③重松清「タオル」のポップ①を作る。

→代官山書店ブックコンシェルジュ岡重道子さんに見ていただく。

【第二次】

大三月④一枚のポップでベストセラーを生む岡重道子さんについて知り、講演で学びたいことを考える。

⑤岡重道子さんをゲストティーチャーに迎え、本の楽しさやポップの作り方を学び、メモをする。

⑥岡重さんから学んだことを整理し、再度「タオル」ポップ②を作る。

⑦「タオル」ポップ②を完成させる。

【第三次】

⑧自分のおすすめの本の魅力を分析する。

⑨自分のおすすめの本の魅力が伝わるポップを作る。

⑩NAMIOKA書店開店会おすすめの本とポップで交流し合う。

⑪読みたいと思った本を選び、クラス内でのブックランキングを発表する。

⑫学習の振り返りとまとめを行い、夏休みにより読書を行うための準備を進める。

→岡重さんにお礼の手紙を書く。

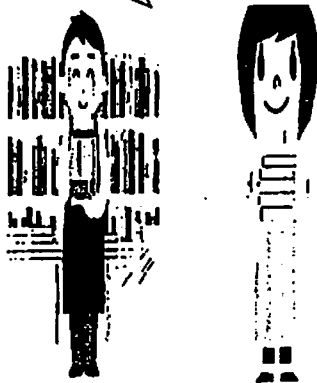
【第四次】

⑬夏休みにおすすめされた本などでじっくり読書に親しんだり、読書感想文を書いたりする。

⑭夏休みに読んだ本をリスト化し、自分の読書生活の姿を捉える。

この授業を終えて、
「ポップを作ったら、作品の理解がもっと深まった!」
「今までよりも本を手にとって読んでみようと思った!」
そうなれたら最高。頑張りましょう。

目指せ!
ポップのプロ!!
ポップロ!!!



A 夢を叶えた... いや
これからも夢を跳び続ける!
彼女ならどこに壁でも乗り越えていく
のだからと思います。たとえそれが片足でも。
失ってしまったものより、今ある幸せに気づけず。
義足となった少女がアスリートになるまでを描くエッセー。
パラリンピック
3大会連続出場 佐藤真海『夢を跳ぶ』

B 神様はその人乗り越えられない
試練は与えない
義足となった一人の女性の挫折と苦悩 夢
そこからはいあがリオリンピックまで跳んだ
彼女からあふれるたくまの名言に魅了されます
パラリンピック
走幅跳選手 佐藤真海『夢を跳ぶ』

C 笑顔の裏に隠された
挫折と苦悩の連続
なにかに悩み苦しんでいるあなたに贈る
あたたかい頑張りと笑顔で一歩踏み出せよう
パラリンピック走幅跳の選手である彼女の一生が描かれた。
笑顔でいる彼女が分かる一冊。さあ、ページをめくってごらん。
佐藤真海『夢を跳ぶ』

POPに貼っているもの ①キャッチコピー（インパクトのある、心をつかみ取る）

②本の魅力（登場人物、ストーリーや設定、世界や語り口、台詞、主題やテーマなど）

③あらすじを簡潔に作品の内容

④本の著者

生徒が自分の力に合わせてPOP作成ができるよう次のようなねらいをもって見本を作成した。

A.

① 本文の一部を少しだけ複製したキャッチコピー

② 設定、主題「失ってしまったものより今ある幸せに気づけます」

③ あらすじを簡潔に1行

④ 作者の経歴・作者・作品

且

① 本文をそのまま引用したキャッチコピー

② 「挫折・苦悩・夢」と主題につながる表現を体言止めで表現。魅力一名

③ 作者の経歴・作者・作品

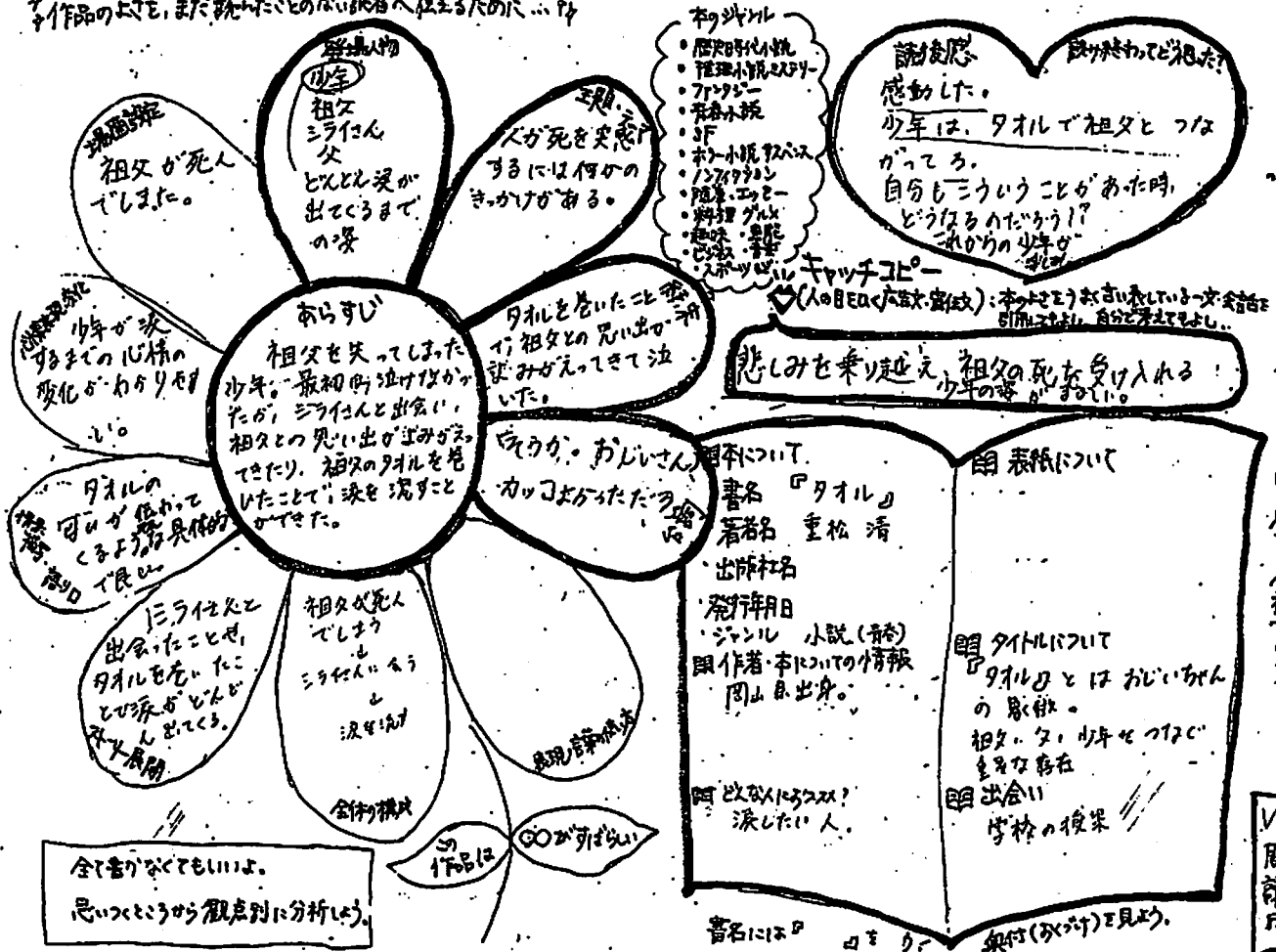
C.

① 主題を捉えた書き手独自のキャッチコピー

② 読み手に手に取ってもらえるような温かい表現

③ あらすじに魅力や技法も含める

♪♪作品のよても、まだ読んだことのない読者へ伝えるために... ♪♪



水無月十三日 資料③ 二年 袖 番一

二年組 苗一

Ver.1
問室人少
講演前
F.タイル

思い出 + タオル = 涙
今すぐ涙を流したい人に贈る
重松清 WORLD!!!!

祖父を亡くした少年があるきっかけて
涙を流すまでを描いた感動小説。
そのきっかけとは…?

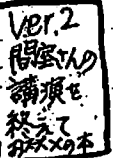
重松清「夕オル」

間室氏講演前のPOP

間室氏講演後のPOP

思い出+タオル=涙

「涙は出なくても、
だんだん悲しくなってきた。
祖父を亡くした少年があるきっかけで
死を受け入れるまでを描いた感動小説
そのきっかけとは…？」
重松 清 タオル



問室氏の講演において、
「書店内に同じ作品で複製箇所POPを置くとしても
コピーはせず、必ず手書きで複製枚書く」と言っていた。
その言葉を踏まえ、本生徒は、お花プリント以外にも
キャッチコピーを何個も考え、
一つの作品でPOPを2枚仕上げた。

余命わずかとなった「僕」。その前に自分と同じ姿をした悪魔が現れる。悪魔は世界から何かを消す代わりに1日の命を与えることを持ちかけてくる。そんな「僕」を救ったのはたくさんの「発言」。

川村 元気 世界から猫が消えたなら

POPの書き方

17 6月

① POPは 読書感視文や 書評とは 役割が 違います

POP → 目を引き → 手に取らせ → 手に持って読む 足を運んでもらう

自分の気持ちと たいに述べ 終わり ではなく、
それを 相手の気を引いてこそ。

② 目的

本が 出たことを 知らせる / バストセラーであることを 知らせる / 映画化を 知らせる
つまり、宣伝もある。
何を 宣伝するのか？ → 自分/思い 本の面白さ

③ 文字の 美しさ / ハタさ

ちかちかしたゴツさ、ハタさも 読みやすい文字に。 書くコツ 「均一」

④ 最大でも 5〜6行

POPは、長々と 読んでもらうものではない
目を引くためには コンパクトに。 キャッチーに。

⑤ ここがポイント！ ということには 大きく書く

行や またまりを 色を変える “反対側の色” をうまく使う (色相環)

⑥ ニつの とうざりよく

想像力 = イマジネーション
創造力 = クリエーションまだ 起きていることを考える
実際に 作り出す

はじめの一步として

★ 本を 読んでいて、 気になったこと、 驚いたこと が あったら そのまま 書いてみよう
「イキナリ」「感動」「ビックリ！」

★ ここを 抜き書きすれば、 相手は もっと この本に 興味を持つ という “本の肝” を そのまま 書く

表紙の2つの光は
スポットライト？寄り添う男と女、離れゆく心にも
見えてきて...
又吉直樹さん (33万部 ヒット中) 劇場恋愛小説なのに。
ラブシーンは出てきません！
だけを切なさ100%
そして、なぜか、すべてが愛の場面
とも思えてくる 又吉直樹「劇場」

「ここは安全なん？」

「ここが一番安全です」

若い女の子と演劇青年との 出会い。
2人は互いの心の中に、居場所を
作る事が できるのか？
笑いながら、泣く。

間室道子さん、ありがとうございました！ポップロ目指して、頑張ります！！



彼中2年生のポップをご覧になっています 間室版『タオル』ポップを書いてくださっています 又吉『劇場』ポップ(引用 ver.)

★間室さんへQ&A★

①「一生に一度は読むべき」本で、私たちにオススメの本はありますか？

最新刊、辻村深月のポプラ社から出ている『かがみの孤城』ですよ。中1年生のこころちゃんが学校に行けなくなり、隣の向こう側に行ったら何らかの事情で行けない子たちと出会う…中高生に人気です。

②本の魅力は何ですか？もっと本を楽しみたいのですが、どうしたら本をもっと好きになれるですか？

読書はいろんな人生を体験できるのが最大の魅力。「読書は人生が1回しかないことへの最大の償いである。」という言葉があります。読書は人生には絶えず相手がいることを教えてくれるものだと思います。読書の量が増えたというよりも、読書を通じてどうした、と言う方が大事。一冊の本によって人生が変わることがある。何かを伝えようとする時、自分の言葉ではだめでも、素晴らしい言葉の出会いがあればそれをそのまま使ってもいい。自分の好きな本を相手が読んでつまらないと感じることもある。

③本の良さはどう見つけていますか？作品の良さを深く理解するためにしていることはなんですか？

1冊でも多く読むこと。この中に「本は自分の心の中に時間爆弾を仕掛けておくこと。」今爆発する本は面白い本。ただ、何年かしてこういふことだったのか…と気づくこともある。この本は好きじゃないなと思ったら途中下車していい。よさを見つけようとしては読んでないです。本のよさはこちらから求めるよりも、本から手を伸ばしてくるもの。何も考えずに読んでいて「あぁ良い本だな」って。本に私が見つけられている感じ。本に読まれている感じがする。

④POPをつくる際に付箋を貼るという「ここぞ」という場面はどんな基準で選んでいますか？

出会いがしらの勝負。ここがビビッとくる感覚。その一行が自分に飛び込んでくる。探そうとはしていない。かっこいいことを書こうとせず、気持ちをつらつらにして無心で本を読むとはっと当たるという感じ。いくつあってもいい。本の肝とは、心に響いたところでありテーマに重なるところでもある。一つとは限らない。

⑤POPに短くうまく言葉をまとめるコツはありますか？

カットの技術は大事な。『タオル』というならば、「居場所がないと悲しむこともできない“のかもしれない”」と本文にはあるけれど、あえて“のかもしれない”はカットした方がインパクトがあるだろうと考えるわけ。もしかすると、言葉用紙に20字以内でまとめるという問題とも似ているかもしれない。とにかく、相手の気を引くにはどうするか、相手を動かす(クリエーション)にはどうしたらいいか、どうしたら書いitす、ひきつつか、この本を贈るにはどの言葉を贈いたら手にとってもらえるかが大事。自分の読んでほしい、買ってほしいという一方的な「好き」ではいいポップは贈れない。いろんな書き方があるけれど、まだその本を読んでない人が本に食いついたらポップ。ポップに当たり外れはあっても、正解はない。

⑥あらすじの書くのにストーリーのどこまで書いたらいいか悩みました。相手の興味を引くあらすじの書き方がありますか？

書店(商業)のポップはあらすじをおさずしも書くものではないですが、本の中に出てくる文章そのもの、本の中の登場人物であったり、台詞であったりそのストーリーに触れていくという感じかな。それだけでも、あらすじを伝えたいし、あらすじに重なるのかな。

⑦「手をかけること＝目を配る、心を配る」とは具体的にはどういうことですか？

私は、お店で3か所同じ本を積むときは、3か所手書きのポップを書きます。やっぱり手書きをする。コピーした同じポップを店内に並べたら、お客様に手振りがされる。私は本に手をかけたい、こだわりたい、のです。

⑧POPを書くときに言葉が浮かばないときはどうしていますか？

本の中の文章を引用する。本の肝をつかむ！

⑨キャッチコピーはどう考えれば相手の心をつかむ良い言葉が浮かびますか？

たくさんポップを書くことかな…。キャッチコピーさえ決まれば、あとの言葉はキャッチコピーが連れてきてくれる感覚かな。

⑩作品のテーマや主題を捉えるのが難しかったです。しっかり読み取るコツはありますか？

少なくとも2回読もうか。声に出して読んでみようか。

⑪感動を言葉にするのが難しかったです。なにかアドバイスはございますか？

素直になること。相手の気を引くためにはどうしたらいいか、が大事です。あとは、主人公を好きになれたからその本は面白い、主人公を好きになれないからその本は面白くないとしてしまうのは、まだ読書が幼い。好きになれないし、共感も出来ないけど、忘れられない登場人物っているよね。POPにおいて、気になる人物にふれるのも一つの手かな。

⑫私たちはPOPをつくる際に「お花プリント」で作品の良さを分析しました。間室さんは、POPをつくる際にどのように頭を整理していますか？

整理はしないよ。あんまり準備しない。読んだら書く。「考えるより感じる！！」

⑬ポップの紙の色は何色でもいいのですか？配色はカラフルすぎてもいいのでしょうか？イラストはつけてもいいですか？タイトルや作者名は書かなくてもよいのでしょうか？

相手が見てどう思うかを大事にしてね。書店(商業)でのポップはそのわきに本が積んであるわけなので、必ずしも必要というわけではありません。でも図書館の授業の中では必要ではないでしょうか。

【資料編6】支持が高かった『タオル』POP

【間室氏講演前】

かすかな潮のにおいは、
そこにもあった

漁師だった祖父を亡くした少年に残されたのは、涙に行く時に
使っていた祖父のタオルだけだった。居場所をなくして泣き止まない
少年と一緒に涙したい人にオススメ??

「失ってから気づく大切なもの」
あなたは気づいていますか?

重松清 『タオル』



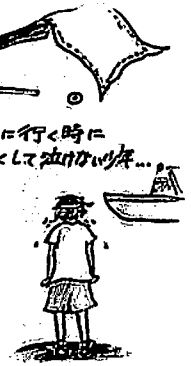
【間室氏講演後】

かすかな潮のにおいは、
そこにもあった

漁師だった祖父を亡くした少年に残されたのは、涙に行く時に
使っていた祖父のタオルだけだった。居場所をなくして泣き止まない
少年と一緒に涙したい人にオススメ??

「失ってから気づく大切なもの」
あなたは気づいていますか?

重松清 『タオル』



「それを巻いた少年は...!?少年と一緒に涙したい人にオススメ!!」「居場所をなくして泣き止まない少年...そんな少年の前に現れた人物とは?」と主題に迫る表現へ変化。本の肝は「かすかな潮のにおいはそこにもあった」。理由は「そこにも」が展開上重要で注目させたいから」という。

少年の心情の変化に注目!!
「かすかな潮のにおいは、そこにもあった。」

この言葉の意味を知った後、
きっとあなたは優しくなれる。

「かすかな潮のにおいは、
そこにもあった。」

この言葉の意味を知った後、
きっとあなたは優しくなれる。

直木賞作家・重松清 『タオル』

キャッチコピー「少年の心情の変化に注目!!」「一枚の布にこめられた二人の想い」と変化。端的にまとめられるようになった。物語の展開に大きな役割を果たす「潮のにおい」と少年の心情変化に注目させた POP となった。本の肝は「かすかな潮のにおいはそこにもあった」。理由は、「作中に何度も出てくる物語の鍵となる言葉だと思っし、それを解明していくと祖父との共通点にも繋がるから」という。

一枚の布にこめられた
2人の想い

少年と祖父。この2人に共通した「潮のにおい」
「かすかな潮のにおいはそこにもあった」
この言葉の意味を知った後、
少年の心情の変化に注目!!
きっと少年に共感できる。

直木賞作家・重松清 『タオル』

どういうこと!?
思い出+タオル=涙
今すぐ涙を流したい人に贈る
重松清 WORLD!!!!
祖父を亡くした少年があるきっかけで
涙を流すまでを描いた感動小説。
そのきっかけとは...?
重松清 『タオル』

どういうこと!?
思い出+タオル=涙
「涙は出なくても、
だんだん悲しくなってきた」
祖父を亡くした少年があるきっかけで
死を受け入れるまでを描いた感動小説
そのきっかけとは...?
重松清 『タオル』

作品を読み返し、悩んだ末に導き出した本の肝「涙は出なくても、だんだん悲しくなってきた」であった。「祖父の死を受け入れる過程と悲しさが読み取れるから。死は誰にでもやってくる。失ってから気づく大切なものがあると伝えたい。」と述べた。

大切な人の大切な物に
気付いた時、人は...

大切な人を亡くした人に届けたい1冊。
大切な祖父を亡くした少年。
だが、まだ実感できずにいた。
ところがある物がき、かけで少年の気持ちは
変わり始める...

重松清 『タオル』

大切な人の大切な物に
気付いた時、人は...

大切な祖父を亡くした少年、
なかなか実感できずにいた。
そんな時、祖父がタオルを額に
巻いていたのを思い出す。
大切な人を亡くした人に届けたい1冊

重松清 『タオル』

色相環の反対色をうまく組み合わせた配色や、行数、バランスを意識した。「ところがあるきっかけで少年の気持ちは変わり始める...」→「そんな時、祖父がタオルを額に巻いていたのを思い出す」とあえて「タオル」と書き、作品名の意味を読み手に伝えた。

間室道子さん、ありがとうございました！ポップロ目掛けて、頑張ります！！



校中3年生のポップをご覧ください 間室版『タオル』ポップを書いてくださっています 又吉『劇場』ポップ(引用 ver.)

★間室さんへQ&A★

①「一生に一度は読むべき」本で、私たちにオススメの本はありますか？

最新刊、辻村深月のポプラ社から出ている『かがみの風城』ですよ。中1年生のこころちゃんが学校に行けなくなり、顔の向こう側に行ったら何らかの事情で行けない子たちと出会う…中高生に人気です。

②本の魅力は何ですか？もっと本を楽しみたいのですが、どうしたら本をもっと好きになれるですか？

読書はいろんな人生を体験できるのが最大の魅力。「読書は人生が1回しかないことへの最大の償いである。」という言葉があります。読書は人生には飽えず相手がいることを教えてくれるものだと思います。読書の量が増えたというよりも、読書を通じてどうした、と言う方が大事。一冊の本によって人生が変わることがある。何かを伝えようとする時、自分の言葉ではだめでも、素晴らしい言葉の出会いがあればそれをそのまま使ってもいい。自分の好きな本を相手が読んでつまらないと感じることもある。

③本の良さはどう見つけていますか？作品の良さを深く理解するためにしていることはなんですか？

1冊でも多く読むこと。この中に「本は自分の心の中に時限爆弾をしかけておくこと。」今発見する本は面白い本。ただ、何年かしてこういうことだったのか…と気づくこともある。この本は好きじゃないと思ったら途中下車していい。よさを見つけようとしては読んでいいです。本のよさはこちらから求めるよりも、本から手を伸ばしてくるもの。何も考えずに読んでいて「ああ良い本だな」って。本に私が見つけられている感じ。「本に読まれている」感じがな。

④POPをつくる際に付箋を貼るという「ここぞ」という場面はどんな基準で選んでいますか？

出会いがしらの面白。ここがビビッとくる感覚。その一行が自分に飛び込んでくる。探そうとはしてない。カッコいいことを書こうとせず、気持ちをフラットにして無心で本を読むとはっと当たるという感じ。いくつあってもいい。本の肝とは、心に響いたところでありテーマに重なるところでもある。一つとは限らない。

⑤POPに短くうまく言葉をまとめるコツはありますか？

カットの技術は大事な。『タオル』でいうならば、「居場所がないと悲しむこともできない“のかもしれない”」と本文にはあるけれど、あえて「のかもしれない」はカットした方がインパクトがあるだろうと考えるわけ。もしかすると、言葉用紙に20字以内でまとめろという問題とも似ているかもしれない。とにかく、相手の気を引くにはどうするか、相手を動かす(クリエーション)にはどうしたらいいか、どうしたら面白い、ひきつけるか。この本を読ませるにはどの言葉を置いたら手にとってもらえるかが大事。自分の読んでほしい、買ってほしいという一方的な「好き」ではいいポップは書けない。いろんな書き方があるけれど、まだその本を読んでない人が本に食いついたらポップ。ポップに当たり外れはあっても、正解はない。

⑥あらすじの書くのにストーリーのどこまで書いたらいいか悩みました。相手の興味を引くあらすじの書き方ありますか？

書店(商業)のポップはあらすじを必ずしも書くものではないですが、本の中に出てくる文章そのもの、本の中の登場人物であったり、台詞であったりでそのストーリーに触れていくという感じかな。それだけでも、あらすじをさらえていなくてもいいし、あらすじに重なるのかな。

⑦「手をかけること＝目を配る、心を配る」とは具体的にはどういうことですか？

私は、お店で3か所同じ本を読むときは、3か所手書きのポップを書きます。やっぱり手書きをする。コピーした同じポップを店内に並べたら、お客様に手書きがばれる。私は本に手をかけたい、こだわりたい、のです。

⑧POPを書くときに言葉が浮かばないときはどうしていますか？

本の中の文章を引用する。本の肝をつかむ！

⑨キャッチコピーはどう考えれば相手の心をつかむ良い言葉が浮かびますか？

たくさんポップを書くことかな…。キャッチコピーさえ決まれば、あとの言葉はキャッチコピーが選れてきてくれる感覚かな。

⑩作品のテーマや主題を捉えるのが難しかったです。しっかり読み取るコツはありますか？

少なくとも2回読むとか。声に出して読んでみようか。

⑪感動を言葉にするのが難しかったです。なにかアドバイスはございますか？

素直になること。相手の気を引くためにはどうしたらいいか、が大事です。あとは、主人公を好きになれたからその本は面白い、主人公を好きになれないからその本は面白くないとしてしまうのは、まだ読書が幼い。好きになれないし、共感も出来ないけど、忘れられない登場人物っているよね。POPにおいて、気になる人物にふれるのも一つの手かな。

⑫私たちはPOPをつくる際に「お花プリント」で作品の良さを分析しました。間室さんは、POPをつくる前にどのように頭を整理していますか？

整理はしないよ。あんまり準備しない。読んだら書く。「考えるより感じる！！」

⑬ポップの紙の色は何色でもいいのですか？配色はカラフルすぎてもいいのでしょうか？イラストはつけてもいいですか？タイトルや作者名は書かなくてもよいのでしょうか？

相手が見てどう思うかを大事にしてね。書店(商業)でのポップはそのわきに本が読んであるわけなので、必ずしも必要というわけではありません。でも図書館の授業の中では必要ではないでしょうか。

【資料編6】支持が高かった『タオル』POP

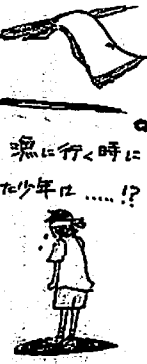
【間室氏講演前】

かすかな潮のにおいは、
そこにもあった

漁師だった祖父を亡くした少年が残されたのは、漁に行く時に使っていた祖父のタオルだけだ。それを巻いた少年は……!?
少年と一緒に涙した人にオススメ!!

「失ってから気づく大切なもの」
あなたに 守られていますか?

重松清 『タオル』



【間室氏講演後】

かすかな潮のにおいは、
そこにもあった

漁師だった祖父を亡くした少年が残されたのは、漁に行く時に使っていた祖父のタオルだけだ。居場所をなくして泣けない少年……。そんな少年の前に現れた人物とは……?

「失ってから気づく大切なもの」
あなたに 守られていますか?

重松清 『タオル』



「それを巻いた少年は……!? 少年と一緒に涙したい人にオススメ!!」→「居場所をなくして泣けない少年……。そんな少年の前に現れた人物とは？」と主題に迫る表現へ変化。本の肝は「かすかな潮のにおいはそこにもあった。」理由は「そこにも」が展開上重要で目立たせたいから」という。

少年の心情の変化に注目!!
「かすかな潮のにおいは、
そこにもあった。」

この言葉の意味を知った後、
きっとあなたは優しくなれる。

直木賞作家・重松清 『タオル』

キャッチコピー「少年の心情の変化に注目!!」→「一枚の布にこめられた二人の想い」と変化。端的にまとめられるようになった。物語の展開に大きな役割を果たす「潮のにおい」と少年の心情変化に着目させたPOPとなった。本の肝は「かすかな潮のにおいはそこにもあった。」理由は、「作中に何度も出てくる物語の鍵となる言葉だと思ったし、それを説明していくと祖父との共通点にも繋がるから」という。

一枚の布にこめられた
2人の想い

少年と祖父。この2人に共通した「潮のにおい」
「かすかな潮のにおいはそこにもあった。」
この言葉の意味を知った後、きっとあなたは優しくなれる
少年の心情の変化に注目!!
きっと少年に共感できる。

直木賞作家・重松清 『タオル』

思い出+タオル=涙
今すぐ涙を流したい人に贈る
重松清 WORLD!!!!
祖父を亡くした少年があるきっかけで
涙を流すまでを描いた感動小説。
そのきっかけとは……?
重松清 『タオル』

思い出+タオル=涙
「涙は出なくても、
だんだん悲しくなってきた」
祖父を亡くした少年があるきっかけで
死を受け入れるまでを描いた感動小説
そのきっかけとは……?
重松清 『タオル』

作品を読み返し、悩んだ末に導き出した本の肝「涙は出なくても、だんだん悲しくなってきた」であった。「祖父の死を受け入れる過程」と悲しさが読み取れるから。死は誰にでもやってくる。失ってから気づく大切なものがあると伝えたい。」と述べた。

大切な人の大切な物に
気付いた時、人は…
大切な人を亡くした人に届けたい1冊。
大切な祖父を亡くした少年。
だがまだ実感できずにいた。
ところがある物がき。かけで少年の気持ちは
変わり始める…

重松清 『タオル』

大切な人の大切な物に
気付いた時、人は…
大切な祖父を亡くした少年。
なかなか実感できずにいた。
そんな時、祖父がタオルを額に
巻いていたのを思い出す。
大切な人を亡くした人に届けたい1冊
重松清 『タオル』

色相環の反対色をうまく組み合わせた配色や、行数、バランスを意識した。「ところがあるきっかけで少年の気持ちは変わり始める…」→「そんな時、祖父がタオルを額に巻いていたのを思い出す」とあえて「タオル」と書き、作品名の意味を読み手に伝えた。

NAMIOKA番店員として、おすすめの本の魅力をポップで紹介しよう。

二年二組 一番

一．あなたが手にとって読みたいと思った本は、誰のどんな本でしたか？

紹介者の 氏名					
本の著者					
タイトル					
住野 よる					
かっくし、いここと					
メアリー・ノートン					
床下の小人たち					
渡辺和子					
置かれた場所で咲きなさい					
志心驚門 日光					
リスマ木も落としただけなへに					
スベリヤー ジョーンソン					
キーズはどっこい消えたり					

その本のどんなところに惹かれましたか？ 理由も含めて、くわしく書きましょう。	おっと誰もが持つている自分だけの隠れ場所というところがどういうことだろうと 思えるところ。 重要な所に二重が、こを用いていて 目にとまる。 色々が目立ちやすいカラーになっている。 色相環を使って見て見やす。時間を使い方は命の使い方をどうしようかと考えることだらうと思える。 キャッチコピーがすごく目立つから 目にとまりやすいところ。 興味をそえられるような内容。 キーズを手に入れれば正義になれるものというところが読みたくなる。 色々目立つ色を使っている。
---	--

Q. 様々な本の魅力を味わい、自分の読書生活に繋げたいと思いましたか？（とても思った・思った・あまり思わなかった・思わなかった）

二、今日の交流を通して、感想をまとめましょう。



みんな工夫して、よく読めなくなるようなPOPにしていってすこやかです。色相環を利用したり空間の均一をいって見やすく目にとまりやすい。文字の配置とかが見やすくてよかった。キャッチコピーの中を色をぬっている人とかもいて、やってみようという人。た、みんなのPOPを見て学んだことを生かして、いいたいことを仲間のPOPを通しての交流活動はいかがでしたか？本の魅力を味わえましたか？さあ、学習もいよいよまとめです。夏休みの読書生活に繋げていきましょう。

【資料編8】① POPランキング表

21R POP				
1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25
26	27	28	29	30
31	32	33	34	35
36	37	38	39	40
41	42	43	44	45
46	47	48	49	50
51	52	53	54	55
56	57	58	59	60
61	62	63	64	65
66	67	68	69	70
71	72	73	74	75
76	77	78	79	80
81	82	83	84	85
86	87	88	89	90
91	92	93	94	95
96	97	98	99	100

22R POP				
1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25
26	27	28	29	30
31	32	33	34	35
36	37	38	39	40
41	42	43	44	45
46	47	48	49	50
51	52	53	54	55
56	57	58	59	60
61	62	63	64	65
66	67	68	69	70
71	72	73	74	75
76	77	78	79	80
81	82	83	84	85
86	87	88	89	90
91	92	93	94	95
96	97	98	99	100

23R POP				
1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25
26	27	28	29	30
31	32	33	34	35
36	37	38	39	40
41	42	43	44	45
46	47	48	49	50
51	52	53	54	55
56	57	58	59	60
61	62	63	64	65
66	67	68	69	70
71	72	73	74	75
76	77	78	79	80
81	82	83	84	85
86	87	88	89	90
91	92	93	94	95
96	97	98	99	100

24R POP				
1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25
26	27	28	29	30
31	32	33	34	35
36	37	38	39	40
41	42	43	44	45
46	47	48	49	50
51	52	53	54	55
56	57	58	59	60
61	62	63	64	65
66	67	68	69	70
71	72	73	74	75
76	77	78	79	80
81	82	83	84	85
86	87	88	89	90
91	92	93	94	95
96	97	98	99	100

1. 祖父はどのような人物であつたと考えられるか？

節リ氣がなく素朴で、仕事一筋に打ち込み、同リからの信頼がある人。

2. 父やシライさんは祖父の死をどのように捉えているだろうか？父は祖父の息子であること、シライさんは以前祖父取材をしていることを踏まえて答えなさい。

父: 泥鰌は 尊敬して 父を 7<17(1.7) とて 悲しい。

シラはん: 取替を以てして祖父が父の代りにして人知、しているの? ともね、い。

3. 少年が P21L1「なのに、涙が出てこない。だんだん悲しくなってきた。」P28L15「急に寂しくなった。涙は出なくてもだんだん悲しくなってきた」P30L10「まぶしさに目を細め、またたくと、熱いものがまぶたからあふれ出た。」のように変化していくのはなぜか、説明しなさい。

最初は鬼に祖父がさくなくてはい祖父の死を大恐すきすいた。
でも自分の居場所を見つけ、祖父との思い出がよみがえり、祖父の死を
覚悟したことで祖父の死を大恐し、受け入れることができたから。

4. 「かすかな潮のにおいは、そこにもあった」とはどのようなことか。具体的に書きなさい。

いふ人な所に祖父が聲してせらるる湖のにおいがおどろく。最
後、音楽を撮り、熱いおなかまふたからたがえた時の涙のにおい
は、おじいさんのタオルを染めたことで、おじいさんとの思い出のにおい
は湖のにおいがよみがえってきたとゾゾと。

5. タオルは、この作品の中で、どのような役割を果たしているか。あなたの考えを書きなさい。

月丸は、漢師として要面職、勤王にきた祖父の義助である。また、少年が漢を説くとき、おけいといふたものゝ期にはおいとともには祖父を見い出し、祖父の死を来歴させることができたものゝ祖父の見いあつたこと存任。

6: POPづくりの良さはなんだと思いますか?【タオル】POPを作ったあなた自身にとってよかったことを書きなさい。

POBを実際に作るときは、『マイル』についての理解が深まったこと。本の読みかたがよくなったこと。読者の1つの文から、どういふ気持ちがあったのかがわかるようになったこと。作者が言いたいこと(本のテーマ)がわかるようになったこと。本をよく見ることができたこと。今を振り返ると、この大切さがよくわかった。1人1台調がわかるようになったこと。

2. あなたが本の肝だと選んだ(POPに引用した部分)はどの部分でしたか?なければ、書かなくてよい。

「涙は出なくともだんだん悲しくなってきた。」

3. なぜ上を本の所として選んだのか理由を書きなさい。(どのあたりが作品のテーマに繋がるのか具体的に書けるとよい)

おじいちゃんのを受け入れようとしている過程が読み取れるところだから。悲しさが読み取れるところだから。

4. POPを作るために『タオル』を読んでみて気づいた『タオル』の主題・テーマにこの作品を通して作者が伝えたいことは、何だと思いましたか？あなたの考えを書きなさい。

死は誰にでも訪れるものであり、できるだけ経験をしておくこと
で人は成長していくということ。失ってしまって かり熱くくたつた
ものが あると いうこと。バの成長を助けてくれる。

5. POPをつくるために『タオル』を改めて読んでみて見つけた、気づいた、発見した『タオル』のよさ・すばらしさ・魅力は、何だと思いますか？あなたの考えをできる限りたくさん書きなさい。悩む人は、下の例を参考にして書きなさい。

『月オル』を改めて読んでみて見つけた魅力、よはあえて主人公を名前に呼ばずに「少年」と呼んでいるところにあります。なぜかという、「少年」の方が名前で呼ぶのに比べて、少年と自分を重ねることができるところからです。「自分だったらどうするのか、を考えられること、より作品について深く考えることが出来ます。また、少年の気持ちを想像しやすくてきま
り、しかし名前で呼ぶと、自分と重ねようとして、名前がついてはいて
いるので、自分と重ねづらく感じます。なので「少年」と呼んでいると
【例】　　うが魅力。

読書への意欲や読書量が向上 _____
図書館や図書室へ行く、書店（POP）で本を購入 _____
POPの書き方やPOPの存在意義を学んだ _____
本の肝を探したり、作品の魅力を味わえたりした _____
ジャンルが広がった ○

ジャンルが広がった ○

POPづくりを通して学んだことは、本をただ読むだけでなく、本の肝を探したり、一文一文をよく理解しながら読むことで、本の内容をよりよく理解できるということ。
また学習前と後で、私は良い変化は、自分が普段読まないようなジャンルの本に興味がわいたこと。それから、もっと自発的に本を読んで、好きな本は手に取らないうえ、本を手に取ってみたい。本について深く理解してから読んでいきたい。

今回の授業を通して、POPとは本の良さや魅力を紹介するようになったものだと感じた。
なぜなら前まで全く本を読まなかった自分がこの授業をおこなったことにより、本に興味を持ち、昼休みに学校の図書室に毎日行くようになった。それから、たくさん本とふれ合って行き来し、本を読むことになった。新聞も読んでいきたりと思えた。このように本が新聞などとは違った可能性を生を見つけられたらな、と思った。

POPを皆で紹介した時に、今まであまり見なかったジャンルの本を読みたくて、だいたい視野が広がった。本がもっと好きになった！

私がこの授業で学んだことは、POPはいろいろな人に読んでもらうための重要な役割があること。POPを読んで読みたい本があるように、POPが作られるには、好きな本を手に取り、その本についてよく考える必要がある。そして、その本を他の人に紹介できるようにPOPを作る。最初は、POPを作るのが大変だったけど、慣れてくると、POPを作るのが楽しくなってきた。POPを作ることで、本について深く理解することができ、また、他の人に本を紹介することができた。POPを作ることで、本について深く理解することができ、また、他の人に本を紹介することができた。POPを作ることで、本について深く理解することができ、また、他の人に本を紹介することができた。

今まで本は好きだったけど、今まで以上に好きになることができた。そして、様々なジャンルの本を読んでみたいと思うようになった。このPOP作りで、何回も読んでいくうちに魅力を見つけられるとも気づいた。今まで多くは2回しか読んでいなかったのが、3回〜4回も読むようになった。書店に行くとPOPを見る回数、立ち止まる回数が増えた。家での読む時間も増えた。本を読みながら、肝を探そうになった。読みたい本が増えた。これからは、夏休みを有効に使ってたくさん本を読みたい。そして色々な本の肝を見つけ、読んだ本の肝、作者などをノートに書いていく。時間があればPOPも作りたい！あと、代官山つたや書店にも連れて行ってほしいと思う。今までの回読の中で一番楽しかった。

読むようになったこと。前でもそれなりに本を読んでいたけれど、今ではいろいろなジャンルの本を読むようになった。これからの読書生活、もっといろいろなジャンルの本を買って、もっと作品の内容理解を深められるようになりたいです。

POPをみるのが多くなり、買いたい本や買った本のジャンルが広くなり、POPってすごい力があるなと思いました。夏休みも始まるので本を読む時間がたくさんあるので、本屋に行ってPOPをしかりみてほしいのさくらんどうにして、本を買おうと思いました。夏休みにはさくらんどうの本屋にしてみたい。

今まで、何回も読んでいた本でも、POPを作ってみて、より、本の内容が理解できた気がしました。
買い物に行、た時に、本屋さんに行、てみたい。書店員さんが、POPを見たりするようになった。本の存在が自分に、近くなった感じがします。
特に夏休み中は、いろいろなジャンルの本を読みたいと思いました。
今までよりも自発的に、本を読んで、本に親しめたいです！！

読書への意欲や読書量が向上

私はPOPを通して本が好き
になりました。POPをめくる回数もたいへん増えたし家の
ひとりの本をもしよぶて紹介したりすることもあります。
それから読書生活はもとより自分の読んでみたい本や
テレビで紹介していた本などを読んでいきたいです。
また本を讀むと心が落ち着くように思いました。

POP交流をしたことで、みんなのPOPをみ
て、この本をみたい! 気になる! っていう本が
増えた。夏休みは本に囲まれて過ごす
うと思った! 3年生までの目標の1万

ページに近づけるように夏休み中は最低3千ページいけるようにしたい。

[illegible]

POPを通じて、私が学んだ事は、「POPの魅力」はすごいということ
を学ばしました。私は21K~24Kの全の人達のPOPが大好きで、
逆に自分が何で言葉でみたのか、わからなくなってしまうほど。みんなの
POPがとてつもなく魅力的ですか。たてず、^{POP}学習前は本をぜん
ぜん言葉でしか生活してゐたけれど、^{POP}学習をすると、目に入っ
てくる本全てを言葉でみた!!と思ふようになりました。POPの
学習をしたおかげで、本をとても言葉でみるようになったし、
親にも「本たくさん読んでえらいなあ。」と言われ
るようになりました。これから、夏休みからも色々な本を
言葉で、目標3冊以上を超えていきたい!!と思ひます。

それと、この数ヶ月で、主人公は本と親しめて、主人公の気持ちになって
書きたりと、たぐいの書を本から学べました。そして、作りの「私に
本と向き合う」ことを教えた。それから読書時間、夏休み、
たぐいの本と、私含めて、本と親しむ、今度は自動的に読書を通
められるようになった。私が本の作りをしたことにより、本が
好きになって、魅力を知ることが出来たので、良かったです。

POPをつくる前は本屋にPOPがあっても全く見なかつたけれど、POPづくりを通してPOPを見るようになった。
POPとは、本を買ってもらうためにとても重要なものなので、これから本を買うときには、POPを見て本を買うようにしたいと思った。そして、夏休みには時間にもたくさんあるので今までは朝読書でしか本はあまり読まなかったけれど、たくさん本を読みたいと思った。これからは、自分から本に親しみたくさんの本を読みたいと思います。今回の授業でしうかこれでした本も読んでみたいです。

・Popには、その本を気に入った人の愛がこめられていると思う。以前の間室さんの話でも、Popは名作のラテレーとあって、その本が大好きだか、という感想がこめられているが、書店においてあるPopや本について帯と読んでみるようになった。気に入った本とそれと、ておいていくと、いつの間にかあつた高さ(つまりまで積み重ねていたりした)を手に買えなくて、よく親に言われる)読書量が倍増した。以前は多くて1冊に2冊だったけど最近は一週間でも文庫本が1冊読めるようになった。読書が好きになった。何かが文字が月に入れば全部読んだら、(動物園とか水族館の説明書きとかも全部読み終えるまでその場から動けない)漢字に強くなった。本に読み仮名とガルビとかがふつとあると、自然と読み方が覚えられた。

学んだことは相手にうまく伝えるべからず、まず相手を知り、
させる事です。今はまだ相手にそのまま思っていることを伝えてい
 たら、それが良かったです。変化は、学ぶ前には本を買う時、友達
のオススメの本などを聞いてみて、今は、自分のペースを見て買うよう
 になりました。そのため、友達のオススメ本より、自分に合った本を買ってあ
 りました。それから、本を読む時も、本の肝や、その言葉が
いい点、という所をみつけて、みづから読んでほしいです。それ
 ら、もっと楽しく本を読んでほしいです。この学習は終わってしま
 うけど、今までは、もっと本を読んでほしいなと思います。
夏休み、たくさん本を読んでほしいです。

いはずであつた。氣になつた言葉を、氣にして見て、本が前
より楽しくなつた。前は全然、本を手にとらなかつたので。
手にとり読む方がはなはだ、ほかの人のポップを見て読んでみた
くがた本がふさふさした。この授業を通して、ほんとうにおほ。
びらしい。楽しいと思えるようになって、むづかひな
二枚から、本を読むとおほ。あと、課に氣をつけてその場面を
そうどうして見たり。今までとはちがつた。本を楽しみながらまづ
いて、本を読むのをわけていこうと思つた。ポップはおもしろ
じやうぶなんだと思つた。今までにはない。本の楽しめかたが
わかつた。

本の肝を探したり、作品の魅力を味わえたりした

POPはたくさんの人にその魅力を伝えることができて、
見た人に興味をもち、もらえるんだ！”というのをPOPの交流
で実感することができた。そして、ポップをつくるために、本を
よむと作る前より内容を理解しやすかったり本をよむといふと
“本の肝”がわかる気がしう読み方がよくなった。どんどん
本を読むのが楽しくなってきた。今と比べると“本のなる本”も
ほとんどよめないと思っていたけどPOPに来た時や来た後にほど
内容が深まる。そこで、今以前によんだ“本をよんで”をこの場面
いいたく見えるようにした。ただふつうに本をよむのと、
よ考えてよむのはすごい違いの仕方がわかるんだ”がと思った。
それから本をよむときは、ちゃんと読んでから、登場人物と
自分を照らしあわせてよんだ”として登場人物の心情を
よくとると読書がすごく楽しくなると思えた。
また、本屋さんにいった時などにあってあるPOPを見てみて、
自分のPOP作りについていろいろわかったと思う。

例えば、日本企業 POP をつくった時、口授書でその理解していると思
っていたのに、実際に力本にその本場の魅力が理解して、なかなか
いかに、毎々日本企業を、時に、フランスに、そして、ビビ
本に引き込まれた。

尺づくりを通りて笑んだ。とはまたばうばうを語るの下はなく、
 じょうじくり読めばその本の大切な句、場面がよく分かる事と思ふこと。
 では POP作りをすることで1度読
んだ本でも、もう1度読みたいと思うし、主人
公の気持ちやその場面、想ひがもっと伝く、
もっとリアルに考えられてとても楽しかった。

POPを作るのは大変だったけど、
その分普段分かんじない細かい情景変化や
登場人物の心の動きがわがた気がする。

POPをつくったまゝは、この本の……と云うが、たゞ士人見つけられ、POPをつく、といふ……本でも、この本の月や年……と云う……を見つけたから書かされたように感じました。また、POPの文法を通して、フランスの仲間……人々の本を語らせてみた。今人々の本などを語るように感じました。……人々を本と読んで、自分では経験できないようなことや、この世界ではできないようなことも、自分たちが……ようになり、本を語るのが楽しくなりました。これから書店に……。POPを見ながら、本を語らせてみた……と思います。

どのような所をうまく読むか、キャッチコピーと本の肝など
 考えるときにそうがつかえました。本の作者は、どこで
 一番きょうようしているか、どこが一番読んでもほしいかか
 わらなきました。日々にして本をどのように読むかか
 くないように交わりました。むしろ、と本を読んでも
 本のいいところを見つけないと思いました。
 秋POPをかけた。ほかの人がかいたPOPをみ
 りてみた。と思ったのでおもしろがった。
 読みたい本が見つかる。秋交ったと
 思いました。

POPづくりを通して、自分の読んでいる本の内容をよく理解
することができ、作者が読者に何を伝えたいのかわかって深く考
えるようになりつづ。又、主人公の身になって、主人公の思い、
どうしてそう語るのか、さまざまな特徴をつかむことができた。

[illegible]

POPアクリス通一、本が奥が深い世界があるんだと感心した。
POPをつくる際にその物語で何度も読み直した。新しい発見や
驚きに出会い、その物語の違う魅力を知ることができた。
1回読んだたけいながら、言葉の意味や登場人物の心情、
何度も読み直すことにより、その物語の深さ、世界観に感心することが
できる。本が2回目、3回目読んだときには初めて知ることがた
くさんあったりして驚かされた。これからもう2、3冊と本生活
の中に取り入れていき、たくさん読むのだけでなく、何度も読み直す。
これで読んだ本の魅力とたくさん発見して、より多くの本の新しい
世界を知ることができよう。

作者のどういった気持ちが入り込んでいるのか
どこが本の肝で、タイトルとどのような関係なのかを
色々と考えながら本を読むようになった。

[illegible]

POP の書き方や POP の存在意義を学んだ

今日のPOP作りで、POPを作る難しさや、本の面白さに
気づくことができた。学習する前は、ただ単に本を読む
のが好きだからという理由で本を読んでいたが、
学習後は本の肝を見つけるようになり、よりいそ
う本の内容を知りたと思うようになつた。本の内容を
深く知ること、社会の知識を知りたがるのではないか
と思ふ。そして、今回学んで知った本の面白さを上と
樂しむために、定期的に本屋に行つて新しい本を
見たり、家でひまな時は本を読むなどをして
たくさん本に関わりたいといふから思ふた。

僕はPOPつくりを通してPOPはつくるかととても難しいと
思いました。けれどPOPをつくり終えて達成感があ
り良いと思いました。POPがあるからこの本がたくさん
売れていると学びました。学習前は本屋...とが有、でも
POPを見ることがすくなく、たいていPOPのことを学んで
本屋に行ったらPOPを探してはいいます。
本を休み時間にも読んで、家でもいろいろな時とかに
本を言読んでいきたいと思いました。

[illegible]

初めて本を読んだときより、2回目、3回目の
の方が色々とセリフの意味とか考え
られるようになった。
POP べりのこの沢山の本に興味
を持ち、読むことができた。週一で
本屋に行くようになった。
友達と話すことが前は遊びとかだけ
だったのが、山田悠介の本の話とか、本の
話して沢山するようになった。で、いろいろ
これから、いろいろな著者の本を読みたい。

POPづくりを通して学んだことは「本の肝」とはどういうことか、どう見たら見分けられるのか、がすごくわかりました。また、色相環を使った文字の均一を意識したりすることで、見やすく目立つPOPになることも学べました。

POPづくりで感じたことは「本はこんなに楽しくて深いものだ、かな」と思いました。岡室さんにPOPのコツを教えてもらったことで、より良いPOPをつくることのできたのも良かったです。良い思い出になりました。学習前と後でおきた変化は、本型などでPOPを見る回数が増えたこと、読書至る学習前に比べて、3倍以上になったことです。あと、図書室で1冊も本を借りたことがなかったけれど、もう4冊以上借りたことと、今までは少し嫌だと思っていた読書感想文が今は「はやく書きたい!!」と思えたことも良かったです。

PCPブックを通じ主題や作者の言いたいことを
早く見つけられるようになります。また本の用途を探し、
キムチコピーに「ろという作業は大変で難しかったけど
とても楽しく、いい経験になりました。PCPの交流会では
他の人のPCPを見て、「こで表現の仕方があるんだ」と
自分にはない表現方法におどろきを感じました。上手な人
のPCPは色や文字の工夫がされていてとても読みやすか
ります。この学習をいかん、本屋でポップを見たり、本を読
んでいる時に「このPOPはいいな、キムチコピーにできるな」と
考えたりしています。私はいままで本を読んだことがない → 2000

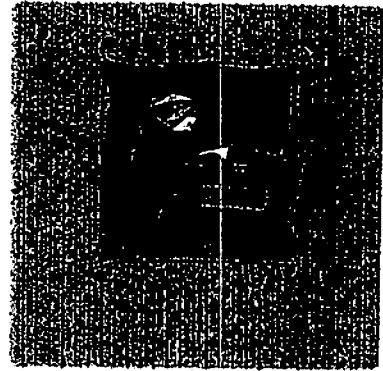
好きだった。でも本の扉を擦って読んだことはなく、1冊
文章をたのしんでいるだけでいい。『その学習で』
本の読み方も変化しています。いままで以上に本をたのしめるように
なりました。
そして本を手に取り回数を多くしました。
いま以上に本を好きになりました。『おはよう！』

どのように本屋に見てもらえるのか。その本に興味があく
というのを学んだと思います。以前より本に興味があったことが
自分に与えて良い変化だと思います。POPでその本が気にな
り、あつたに對してその本はこういうものなのかなと知りたくなりま
した。POPの交流でいろいろな本POPを見ていましたが、その中
で気に入っていたのが さんの「天国まで」の47日間、では
ヤンチャビーに興味本をひきあそ、と知りたくなりました。今度、図書館
へ行き本を読んでみたい。毎日少しでも本を読もうと思ひ
ます。POPが少し気になっていたの、近くにある本屋で
まゐるさんのいる本屋までいっても、と本POPを見てみたい。す、

夏休みを使って、香津の図書館に通った。
山田悠介の本を全冊読破した。

読書生活記録ノート

去年までの読書感想文は自信がなくて真に選ばれると、
いことがありませんでした。でも今回の読書感想文は
授業でPOPを学習したり、作文を書く回数が増え
て自信が付き、良い読書感想文を書くことができ
ました。だからこれからも自分の授業を頑張る、
読書本をたくさん読むこと、そして良い作品をつくり
たいです。



2年2組 番氏名()

*****これは、あなたの読書生活を豊かにするためのノートです。あなたの生活にこの読書ノートが役立
て、生活の一助になることを願っています。定期的に読みますので、1年間大切に保管してください。*****

目標 1万ページ!!

夏休み3冊以上!!

*****読書記録メモ*****
*****これは、あなたの読書生活を豊かにするためのノートです。あなたの生活にこの読書ノートが役立
て、生活の一助になることを願っています。定期的に読みますので、1年間大切に保管してください。*****

*****今の自分の興味のあるジャンルや分野***** こんなテーマ、内容の本が読みたい!

歴史、時代小説、ミステリー、SF、ファンタジー、恋愛

文学、歴史、地理、ミステリー、ハードボイルド、歴史、時代小説、SF、ファンタジー、恋愛、ミステリー、SF、ファンタジー、恋愛、ミステリー、SF、ファンタジー、恋愛

*****読みたい本リスト***** 読みたい本をここに書いておこう!

No.	書名	著者名	出版社	出会うきっかけ
1	「かみゆい」	山田孝之	角川	学校の授業で
2	「かみゆい」	山田孝之	角川	学校の授業で
3	「かみゆい」	山田孝之	角川	学校の授業で
4	「かみゆい」	山田孝之	角川	学校の授業で
5	「かみゆい」	山田孝之	角川	学校の授業で
6	「かみゆい」	山田孝之	角川	学校の授業で
7	「かみゆい」	山田孝之	角川	学校の授業で
8	「かみゆい」	山田孝之	角川	学校の授業で
9	「かみゆい」	山田孝之	角川	学校の授業で
10	「かみゆい」	山田孝之	角川	学校の授業で

読みたい
本

No.	日付	書名	著者名	出版社	本の紹介(引用)	読後感	ページ	冊数
1	7/13	川村元弘	小野	角川	川村元弘の小説は、いつも新鮮で、読み応えが大きい。	面白かった。	217	219
2	7/18	高橋和夫	角川	角川	高橋和夫の小説は、いつも新鮮で、読み応えが大きい。	面白かった。	216	445
3	7/19	七月隆夫	宝島	宝島	七月隆夫の小説は、いつも新鮮で、読み応えが大きい。	面白かった。	217	767
4	7/20	松岡修造	集英社	集英社	松岡修造の小説は、いつも新鮮で、読み応えが大きい。	面白かった。	190	95
5	7/20	羽田圭介	文芸春秋	文芸春秋	羽田圭介の小説は、いつも新鮮で、読み応えが大きい。	面白かった。	121	1076
6	7/21	森田和夫	角川	角川	森田和夫の小説は、いつも新鮮で、読み応えが大きい。	面白かった。	455	1531
7	7/23	和田洋一	角川	角川	和田洋一の小説は、いつも新鮮で、読み応えが大きい。	面白かった。	229	1815
8	7/24	和田洋一	角川	角川	和田洋一の小説は、いつも新鮮で、読み応えが大きい。	面白かった。	290	210
9	7/26	和田洋一	角川	角川	和田洋一の小説は、いつも新鮮で、読み応えが大きい。	面白かった。	294	330
10	7/27	和田洋一	角川	角川	和田洋一の小説は、いつも新鮮で、読み応えが大きい。	面白かった。	295	2677
11	7/29	和田洋一	角川	角川	和田洋一の小説は、いつも新鮮で、読み応えが大きい。	面白かった。	313	399
12	7/30	和田洋一	角川	角川	和田洋一の小説は、いつも新鮮で、読み応えが大きい。	面白かった。	327	327
13	7/31	和田洋一	角川	角川	和田洋一の小説は、いつも新鮮で、読み応えが大きい。	面白かった。	188	399
14	8/2	和田洋一	角川	角川	和田洋一の小説は、いつも新鮮で、読み応えが大きい。	面白かった。	202	399
15	8/3	和田洋一	角川	角川	和田洋一の小説は、いつも新鮮で、読み応えが大きい。	面白かった。	18	399
16	8/5	和田洋一	角川	角川	和田洋一の小説は、いつも新鮮で、読み応えが大きい。	面白かった。	174	399
17	8/12	和田洋一	角川	角川	和田洋一の小説は、いつも新鮮で、読み応えが大きい。	面白かった。	208	499
18								

読書記録メモ

読書記録メモ

読書記録メモ

読書記録メモ

【参考文献】

- ・大村はま『大村はま国語教室⑦読書生活指導の実際（１）』筑摩書房，
１９８４年
- ・田村学・黒上晴夫『こうすれば考える力がつく！中学校思考ツール』
小学館，２０１４年
- ・府川源一郎『読書を教室に』東洋館出版社，１９９６年
- ・文部科学省委託事業図書館の情報拠点化に関する調査研究『親と子の
読書活動等に関する調査』財団法人日本経済研究所，２００４年
- ・保田裕介『書評文化へ参加する読書生活者の育成—批評力の育成を中
核とした読書活動の開発—』千葉市長期研修生研究報告，２０１２年
- ・保田裕介「ビブリオバトルを攻略！—生徒の話す力・聞く力を鍛えつ
つ、読書生活の広がりも—」『月間国語教育研究』日本国語教育学会，
２０１７年
- ・安井總子『読書生活者を育てる』東洋館出版社，２００５年